

令和元年度  
指標達成度調査業務  
(事業の効果に関する市民意識調査)  
報告書

令和2年3月

札幌市

# 目次

---

---

<b>1. 調査実施の概要</b> .....	<b>4</b>
(1) 調査の目的.....	4
(2) 内容.....	4
(3) 設計.....	4
(4) 回収結果 .....	4
(5) 回答者の特性 .....	5
(6) 本調査結果利用上の注意.....	6
<b>2. 調査結果の詳細</b> .....	<b>8</b>
(1) 「暮らし・コミュニティ」について .....	8
子どもの権利.....	8
自然・社会・文化体験をしやすい環境.....	10
保育サービスの利用.....	12
相談相手や情報収集手段の有無.....	14
子育てに関する不安や負担の軽減.....	16
ひとり親家庭の生活に対する不安.....	18
ひとり親家庭の生活について具体的に不安を感じている事柄 .....	20
仕事と生活の調和.....	22
仕事と生活の調和がよりとれるようになると思う要素 .....	24
子ども・子育て支援施策の充実度.....	26
子どもの生み育てやすい環境 .....	38
障がいのある方の暮らしやすさ .....	40
生活や健康福祉の相談先 .....	44
孤立死の心配.....	47
継続的に行っているまちづくり活動.....	49
市民参加の機会 .....	53
市政への関心や参加.....	63
市政への参加しやすさに必要な事柄 .....	65
海外交流への関心 .....	68
行った運動・スポーツ .....	70
運動・スポーツの頻度.....	77
直接観戦したスポーツ .....	79
札幌の水道.....	82
水道に関する取り組み .....	88
(2) 「低炭素社会・エネルギー転換」について .....	91
生ごみ減量・リサイクルの取り組み.....	91
「生物多様性」の言葉の意味 .....	93
環境配慮活動について .....	95

(3) 「戦略を支える都市空間」について .....	102
住環境の満足度 .....	102
公共交通の満足度 .....	104
<b>3. 調査票 .....</b>	<b>106</b>

# **1. 調査実施の概要**

## 1. 調査実施の概要

### (1) 調査の目的

この調査は、「事業の効果に関する市民意識」をテーマに設問を構成している。各事業に対する市民意識を採取し、当該事業の効果及び成果を効率的に把握し、市民にも分かりやすい評価の資料とするものである。

### (2) 内容

- ① 「暮らし・コミュニティ」について
- ② 「低炭素社会・エネルギー転換」について
- ③ 「戦略を支える都市空間」について

### (3) 設計

この調査は、次のとおり設計した。

- ① 調査地域： 札幌市内
- ② 調査対象： 満 18 歳以上の男女個人
- ③ 標本数： 4,000 人
- ④ 調査方法： 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間： 令和 2 年 2 月 14 日（金）～3 月 6 日（金）
- ⑥ 抽出方法： 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」  
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

### (4) 回収結果

発送数： 4,000

回収数（率）： 1,409（35.2%）

## (5) 回答者の特性

		回答者数	男性	女性	無回答
全体		1,409	39.0	58.8	2.2
性別	男性	550	100.0	0.0	0.0
	女性	828	0.0	100.0	0.0
	無回答	31	0.0	0.0	100.0
年代別	18～19歳	19	52.6	47.4	0.0
	20～29歳	96	35.4	64.6	0.0
	30～39歳	180	31.1	68.9	0.0
	40～49歳	233	33.5	66.5	0.0
	50～59歳	274	36.9	62.8	0.4
	60～64歳	125	42.4	56.8	0.8
	65～69歳	151	50.3	49.0	0.7
	70歳以上	307	45.6	52.4	2.0
	無回答	24	8.3	0.0	91.7
居住区別	中央区	180	35.6	63.3	1.1
	北区	207	37.7	61.8	0.5
	東区	158	41.8	57.6	0.6
	白石区	136	36.8	62.5	0.7
	厚別区	85	41.2	58.8	0.0
	豊平区	171	40.4	58.5	1.2
	清田区	81	40.7	59.3	0.0
	南区	101	44.6	55.4	0.0
	西区	159	39.6	59.7	0.6
	手稲区	100	44.0	55.0	1.0
	無回答	31	9.7	19.4	71.0

**(6) 本調査結果利用上の注意**

- ① Nとは、比率算出の基礎となるサンプル数のことである。
- ② 各回答の比率は、回答者数の分母とした百分率であり、小数第2位を四捨五入して表している。
- ③ 1人の対象者につき2つ以上の複数回答を認めた質問の場合は、回答者数を分母としているため、個々の比率の合計は、100.0%を超えることがある。

## **2. 調査結果の詳細**



## 2. 調査結果の詳細

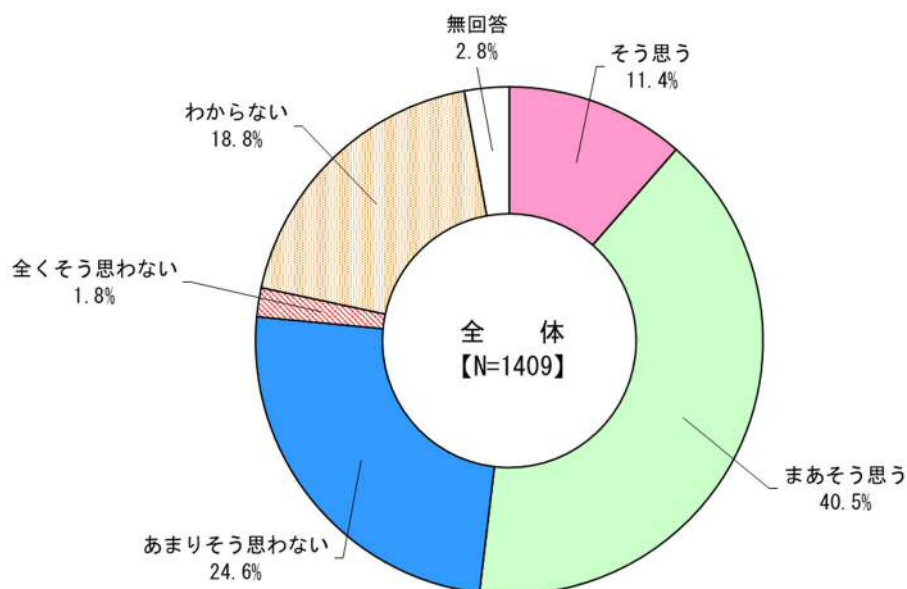
### (1) 「暮らし・コミュニティ」について

#### 子どもの権利

【問1】あなたは、今の札幌市では、子どもの権利\*が大切にされていると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

※「子どもの権利」とは、子どもがのびのびと過ごし、健やかに成長・発達していくために大切にされなければならない子どもにとっての基本的な権利であり、札幌市では「安心して生きる権利」「自分らしく生きる権利」「豊かに育つ権利」「参加する権利」の4つとしています。

子どもの権利の保護については、「そう思う」(11.4%)と「まあそう思う」(40.5%)を合わせた割合(51.9%)が全体の5割強を占めている。



#### 【対象者全体】

「まあそう思う」が40.5%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が24.6%、「わからない」が18.8%、「そう思う」が11.4%、「全くそう思わない」が1.8%となっている。

#### 【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性で39.3%、女性で41.5%となっている。

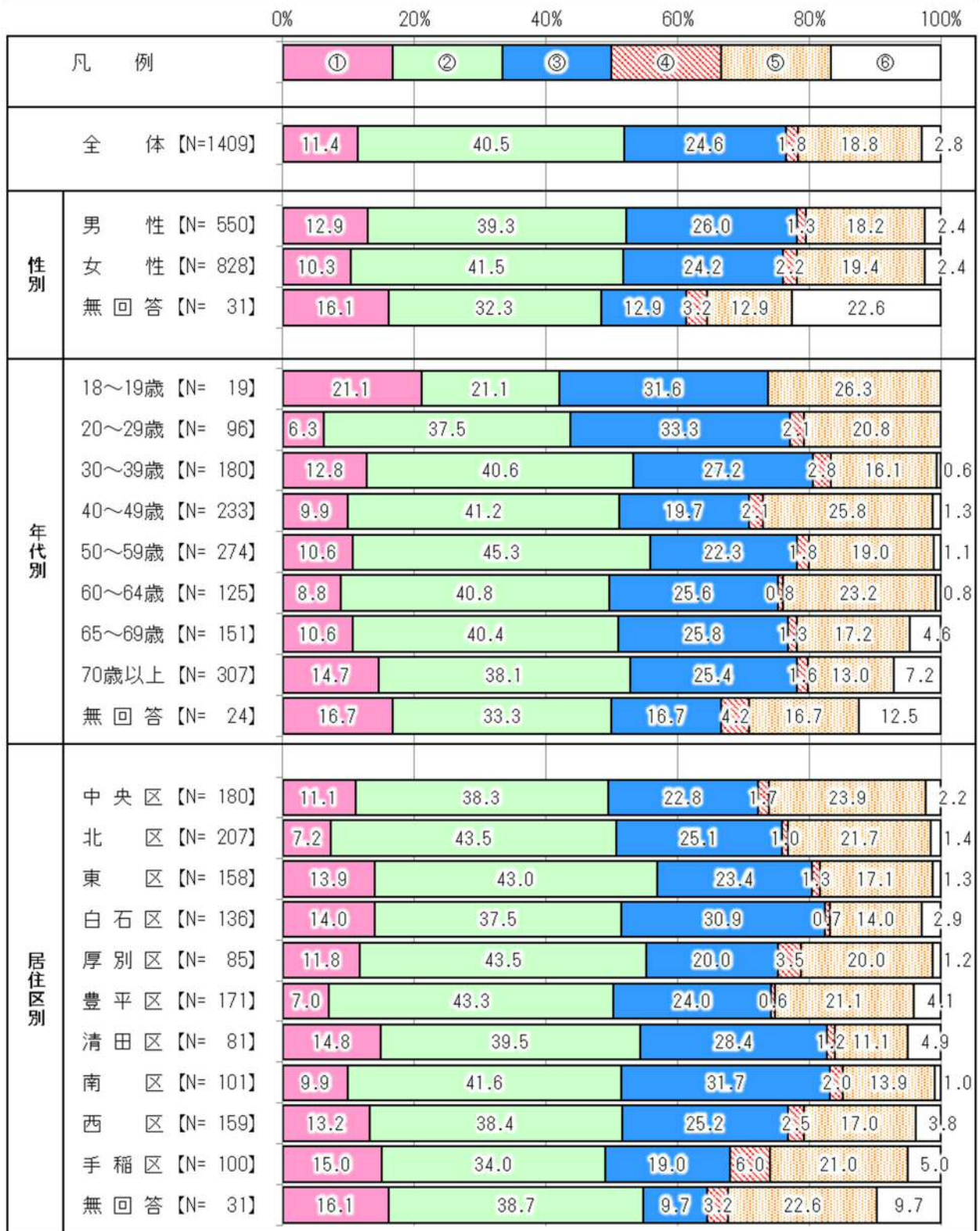
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代において「まあそう思う」が最も高く、その中でも50歳代が45.3%と最も高くなっている。

#### 【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高く、その中でも北区と厚別区が43.5%と最も高くなっている。「そう思う」は手稲区で15.0%と最も高く、豊平区で7.0%と最も低くなっている。

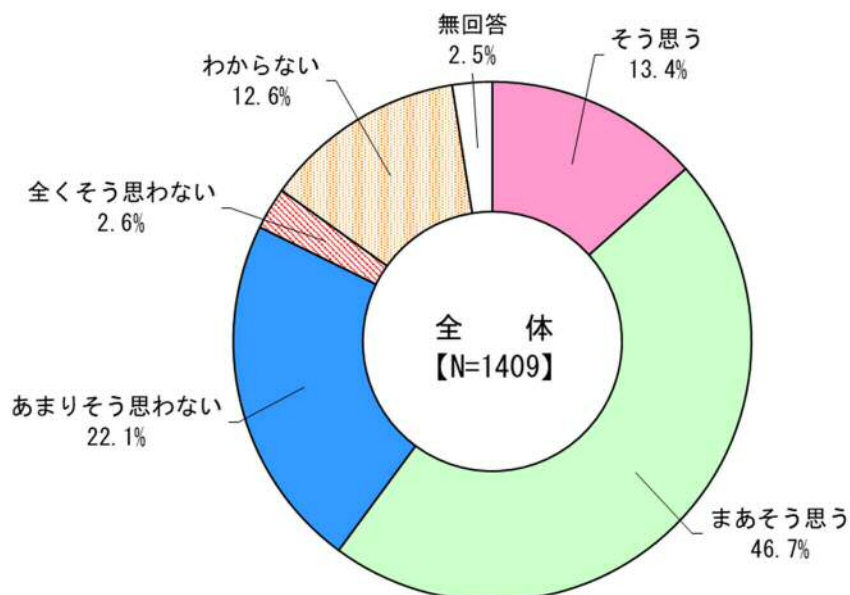
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 自然・社会・文化体験をしやすい環境

【問 2】あなたは、現在の札幌市が、子どもにとって、自然・社会・文化などの体験をしやすい環境であると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

自然・社会・文化体験をしやすい環境であると思うかについては、「そう思う」（13.4%）と「まあそう思う」（46.7%）を合わせた割合（60.1%）が約6割となっている。



### 【対象者全体】

「まあそう思う」が46.7%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が22.1%、「そう思う」が13.4%、「わからない」が12.6%、「全くそう思わない」が2.6%となっている。

### 【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性が48.5%、女性が45.3%となっている。

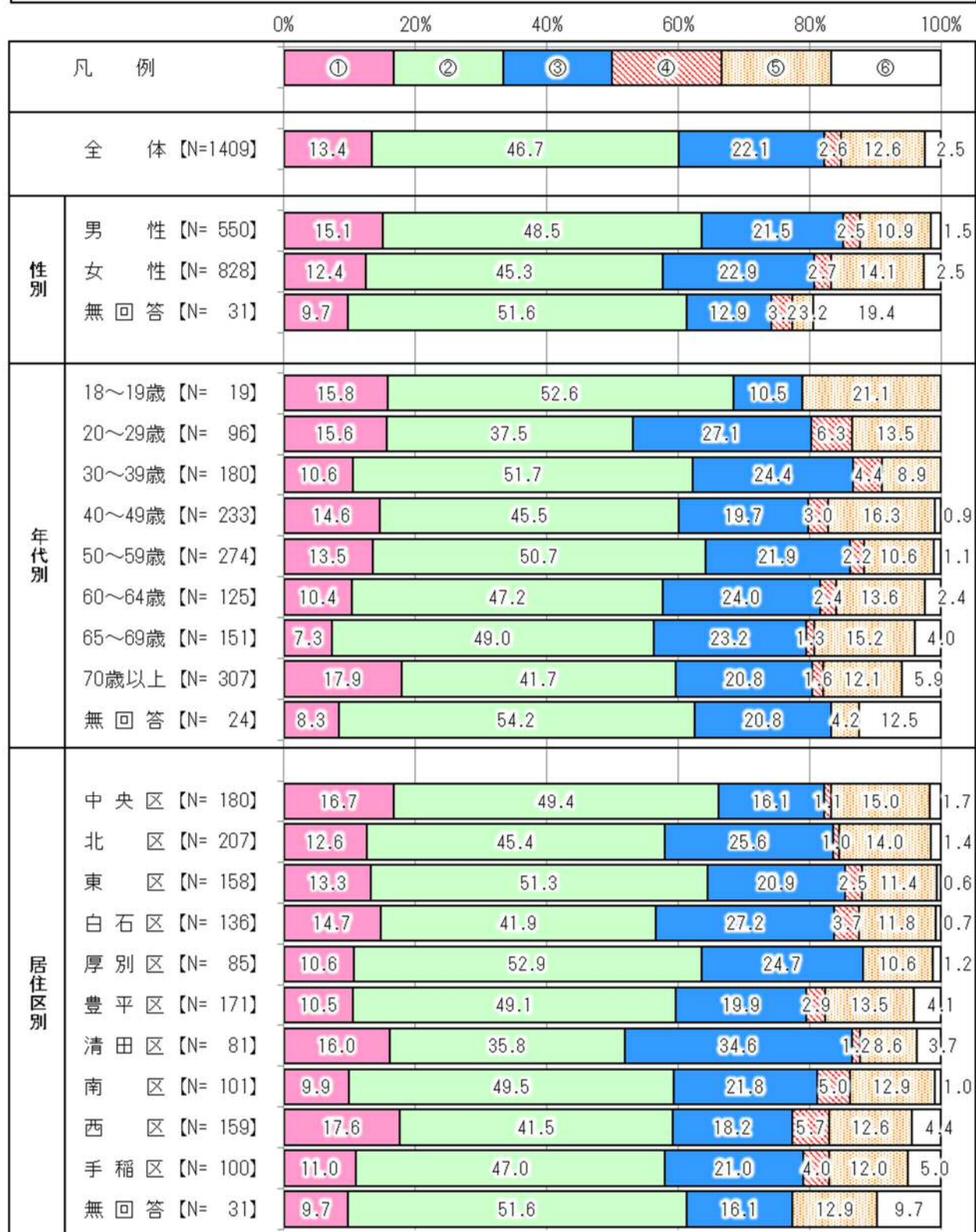
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「まあそう思う」が最も高くなっている。その中でも30歳代で「まあそう思う」が最も高く（51.7%）、20歳代で最も低くなっている（37.5%）。

### 【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高くなっている。その中でも厚別区で「まあそう思う」が最も高い（52.9%）。「あまりそう思わない」は清田区で最も高く、34.6%となっている。

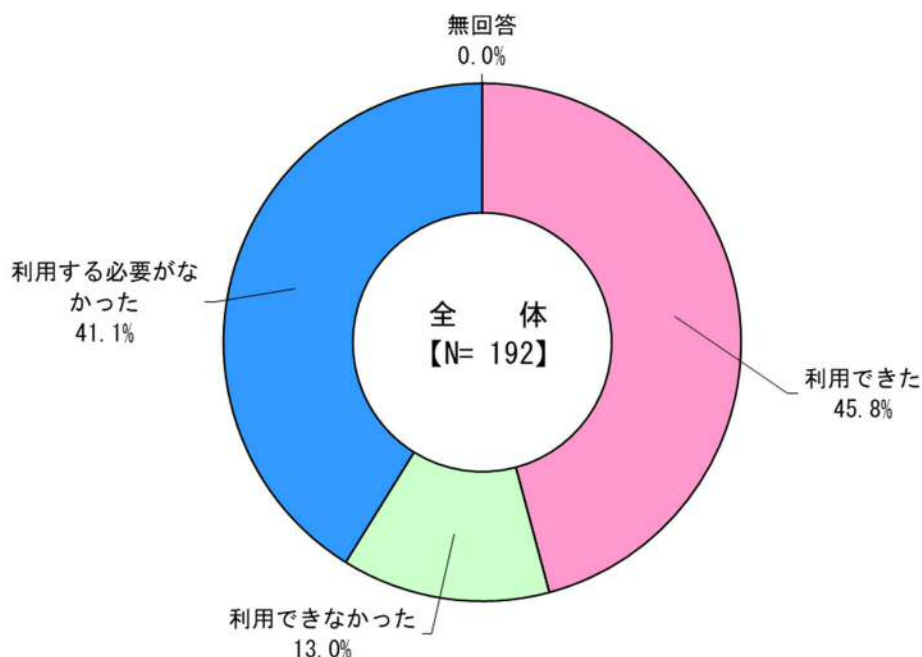
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 保育サービスの利用

【問 3】 この設問は小学校入学前のお子さんがある方のみお聞きします。あなたは、この1年間に、あなたの希望に応じた保育サービスを利用することができましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

保育サービスの利用については、「利用できた」が45.8%で、「利用できなかった」(13.0%)の約3.5倍となっている。



### 【対象者全体】

「利用できた」が45.8%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった」が41.1%、「利用できなかった」が13.0%となっている。

### 【性別】

女性は「利用できた」が最も高く54.5%、男性は「利用する必要がなかった」が最も高く56.4%となっている。「利用できなかった」は女性(15.2%)が男性(9.0%)を6.2%上回っている。

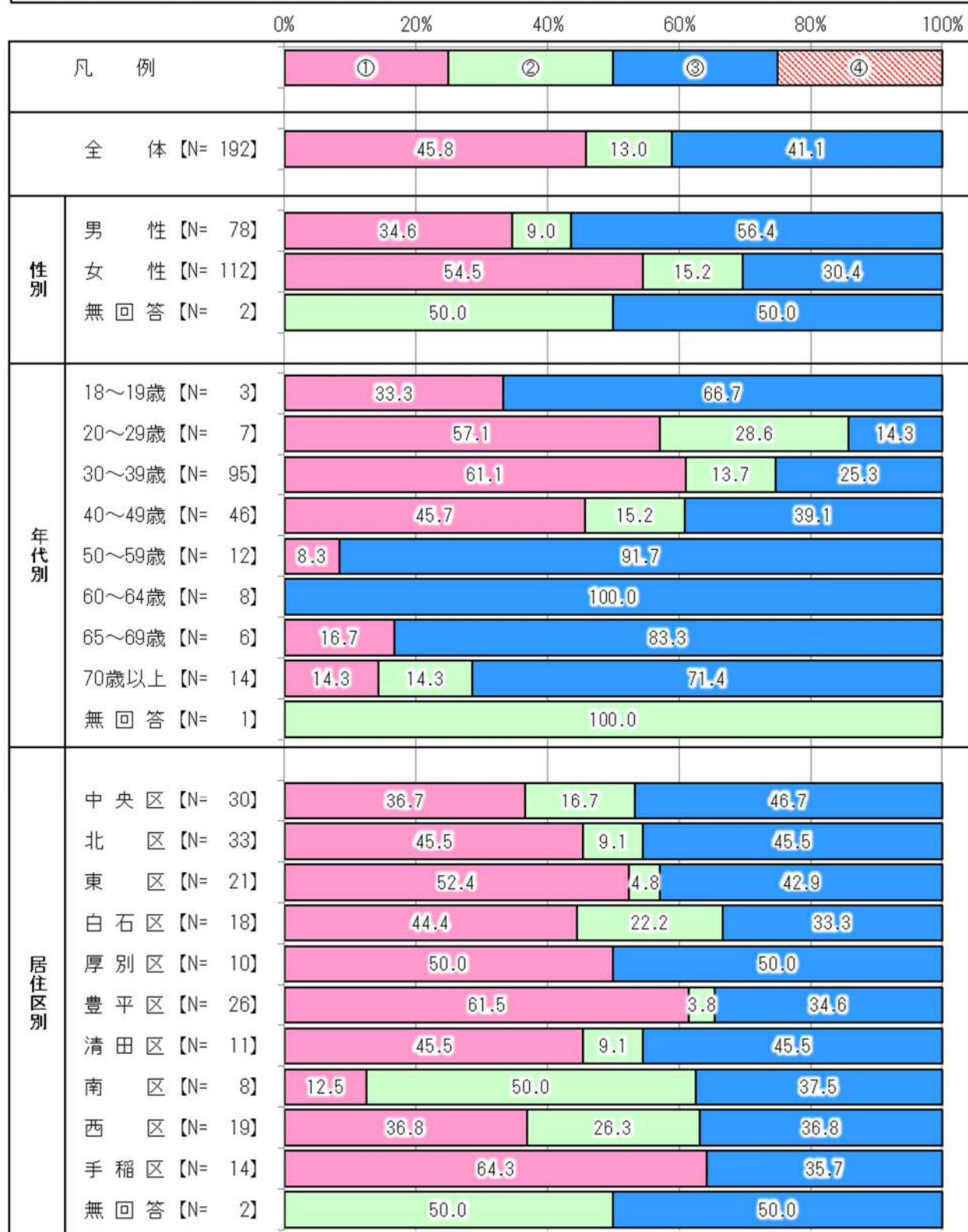
【年代別】 ※10歳代、20歳代、50歳代、60歳代、70歳以上は少数のため参考値とする。

「利用できた」は30歳代で61.1%と最も高くなっている。

【居住区別】 ※白石区、厚別区、清田区、南区、西区、手稲区は少数のため参考値とする。

「利用できた」は豊平区で61.5%と最も高くなっている。

①利用できた ②利用できなかった ③利用する必要がなかった ④無回答

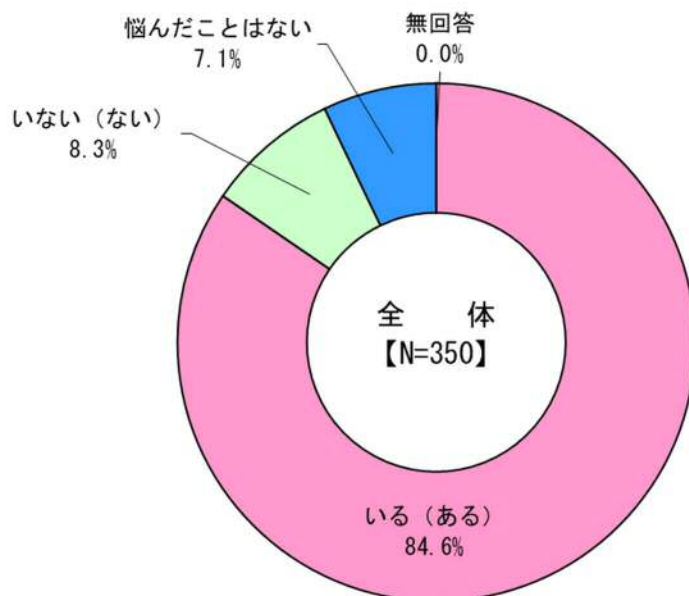


## 相談相手や情報収集手段の有無

【問 4】 この設問は 18 歳以下のお子さんがある方のみお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) 妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、あなたには、家族や友人・知人、各種子育て相談窓口などの相談相手や情報収集手段がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

相談相手や情報収集手段の有無について、「いる（ある）」が 84.6%と全体の 8 割強を占めている。



### 【対象者全体】

「いる（ある）」が最も高く（84.6%）、次いで「いない（ない）」が 8.3%、「悩んだことはない」が 7.1%となっている。

### 【性別】

男女ともに「いる（ある）」が最も高く、男性が 74.8%、女性が 91.1%と、女性の方が高くなっている。「いない（ない）」は男性が 12.6%、女性が 4.9%となっている。

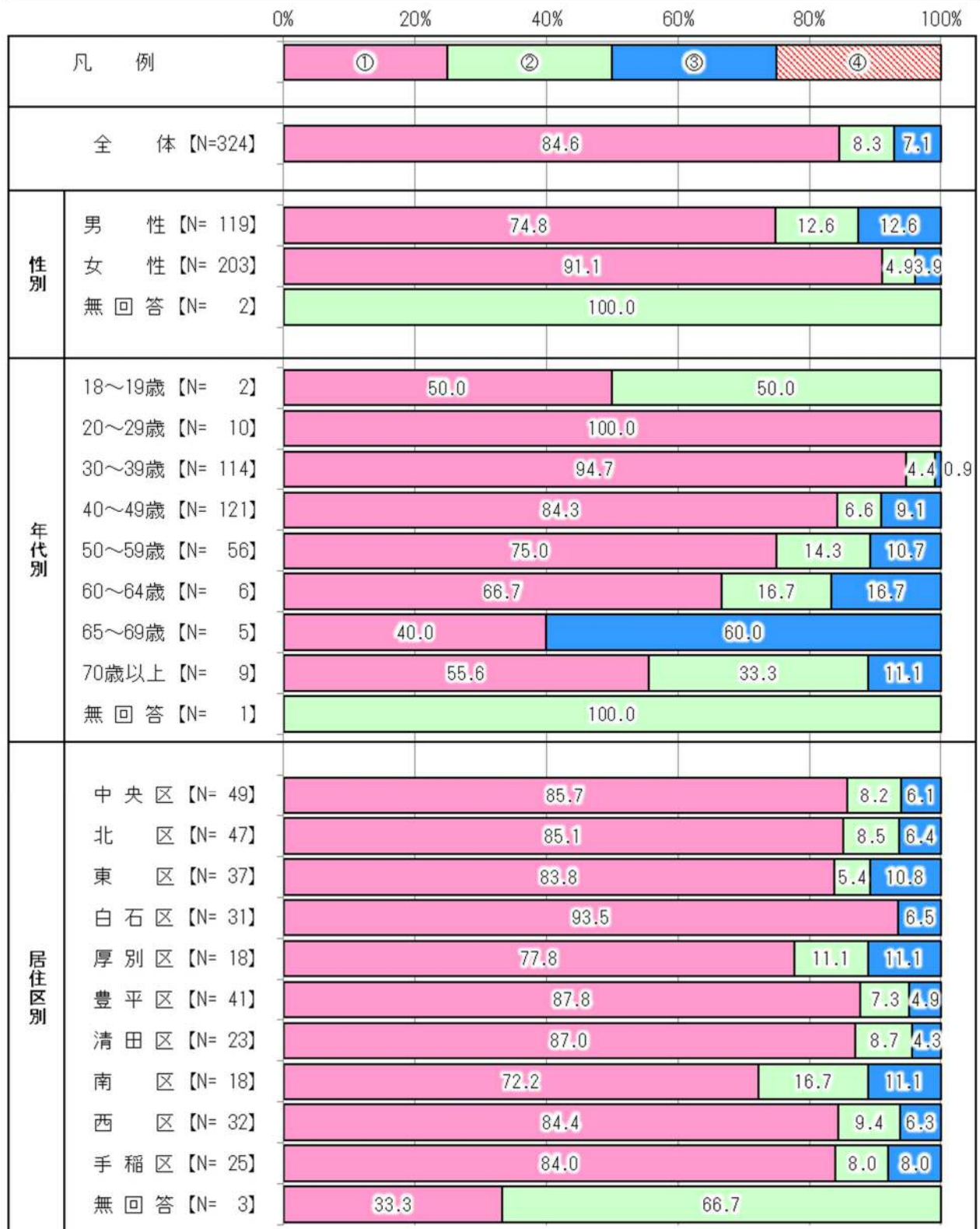
【年代別】 ※10 歳代、20 歳代、60 歳代、70 歳以上は少数のため参考値とする。

20 歳代から 60 歳代前半のいずれも「いる（ある）」が最も高いが、年代が上がるにつれて値が減少する傾向があり、30 歳代では 94.7%だが、50 歳代では 75.0%となっている。

【居住区別】 ※厚別区、南区は少数のため参考値とする。

全居住区で「いる（ある）」が 7 割を超えており、特に白石区（93.5%）で最も高くなっている。

①いる（ある） ②いない（ない） ③悩んだことはない ④無回答

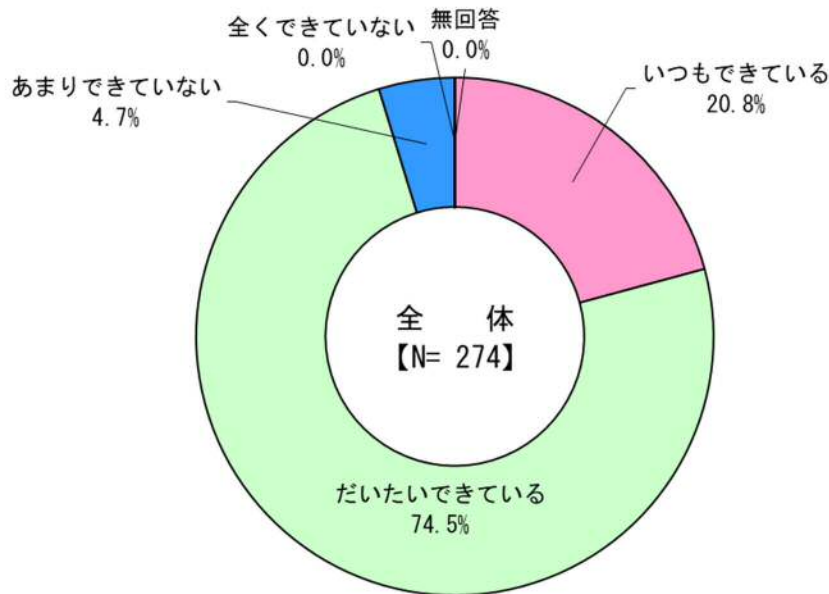




## 子育てに関する不安や負担の軽減

(2) (1)で「1.いる(ある)」と答えた方にお聞きします。あなたは、妊娠・出産や子育てについて悩んだとき、相談や情報収集したことにより不安や負担を軽くすることができていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子育てに関する不安や負担の軽減については、「いつもできている」(20.8%)と「だいたいできている」(74.5%)と合わせた割合(95.3%)が全体の9割を占めている。



### 【対象者全体】

「だいたいできている」が74.5%と最も高く、次いで「いつもできている」が20.8%、「あまりできていない」が4.7%、「全くできていない」が0.0%となっている。

### 【性別】

男女ともに「だいたいできている」が最も高く、男性が74.2%、女性が74.6%となっている。「いつもできている」は、女性が22.7%、男性が16.9%と、男性の方が低くなっている。

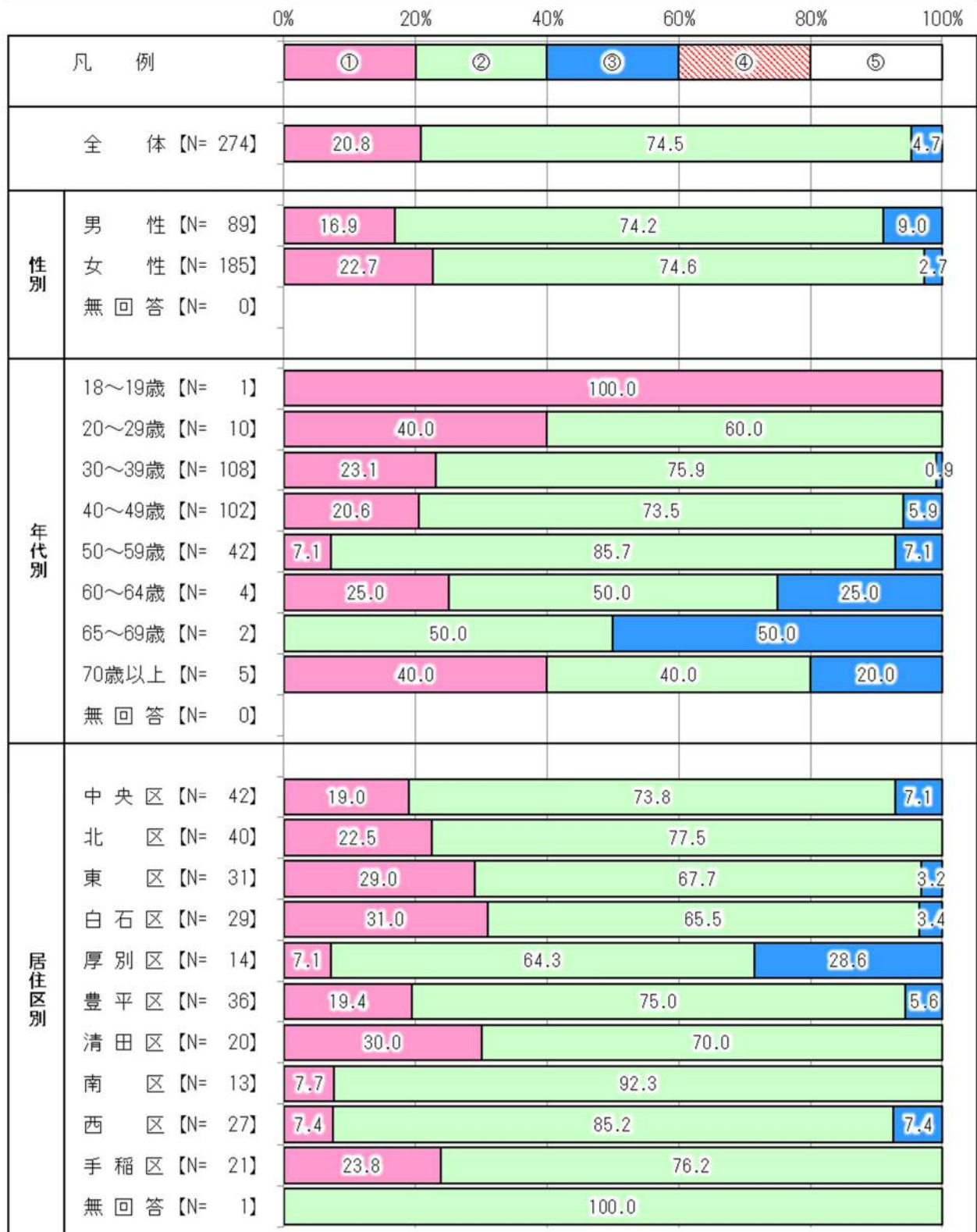
### 【年代別】※10歳代、20歳代、60歳代、70歳以上は少数のため参考値とする。

20歳代から50歳代で、年代が上がるごとに「いつもできている」が減少し、「あまりできていない」が増加する傾向にある。

### 【居住区別】※厚別区、南区は少数のため参考値とする。

「いつもできている」は西区(7.4%)でやや低くなっている。

①いつもできている ②だいたいできている ③あまりできていない ④全くできていない ⑤無回答

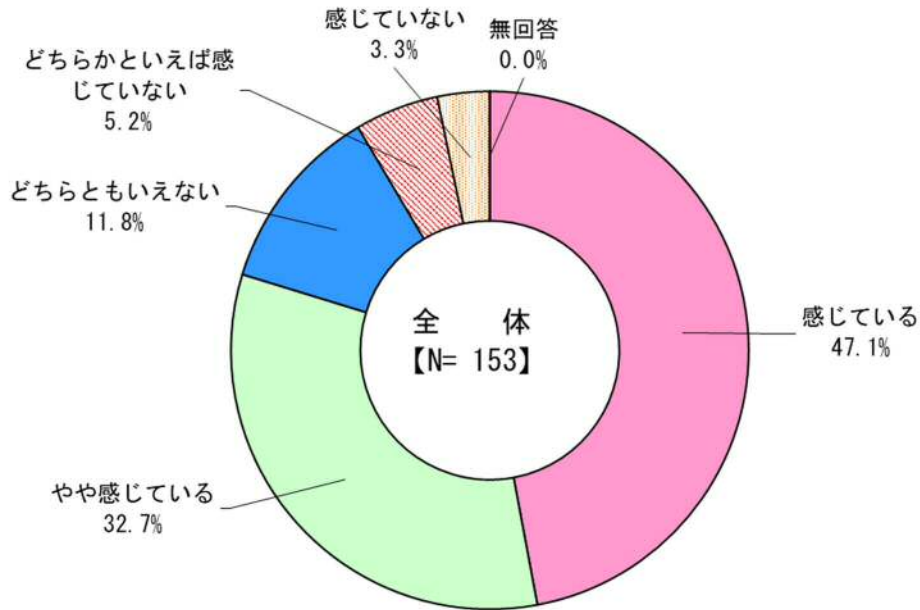


## ひとり親家庭の生活に対する不安

【問 5】 この設問は 20 歳未満のお子さんがあるひとり親家庭の方にのみお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなたは、今後の生活に対して不安を感じていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

ひとり親家庭の生活に対する不安については、「感じている」(47.1%)と「やや感じている」(32.7%)を合わせた割合が全体の約 8 割を占めている。



### 【対象者全体】

「感じている」が 47.1%と最も高く、次いで「やや感じている」が 32.7%、「どちらともいえない」が 11.8%となっている。

### 【性別】

男女ともに「感じている」が最も高く、男性が 47.4%、女性が 45.7%となっている。

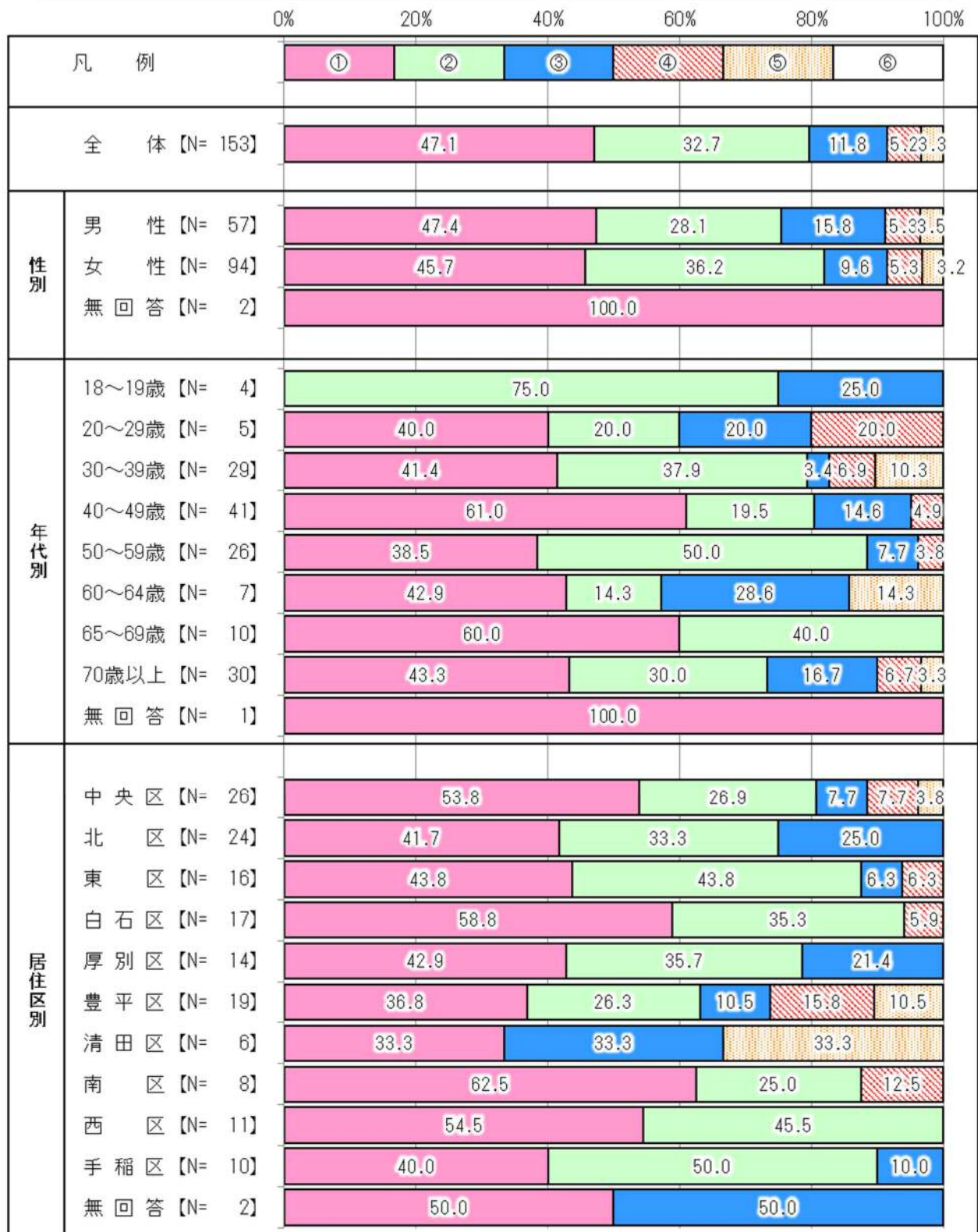
【年代別】 ※10 歳代、20 歳代、60 歳代は少数のため参考値とする。

「感じている」は 40 歳代で 61.0%と最も高くなっている。

【居住区別】 ※東区、白石区、厚別区、豊平区、清田区、南区、西区、手稲区は少数のため参考値とする。

「感じている」は中央区で 53.8%と高くなっている。

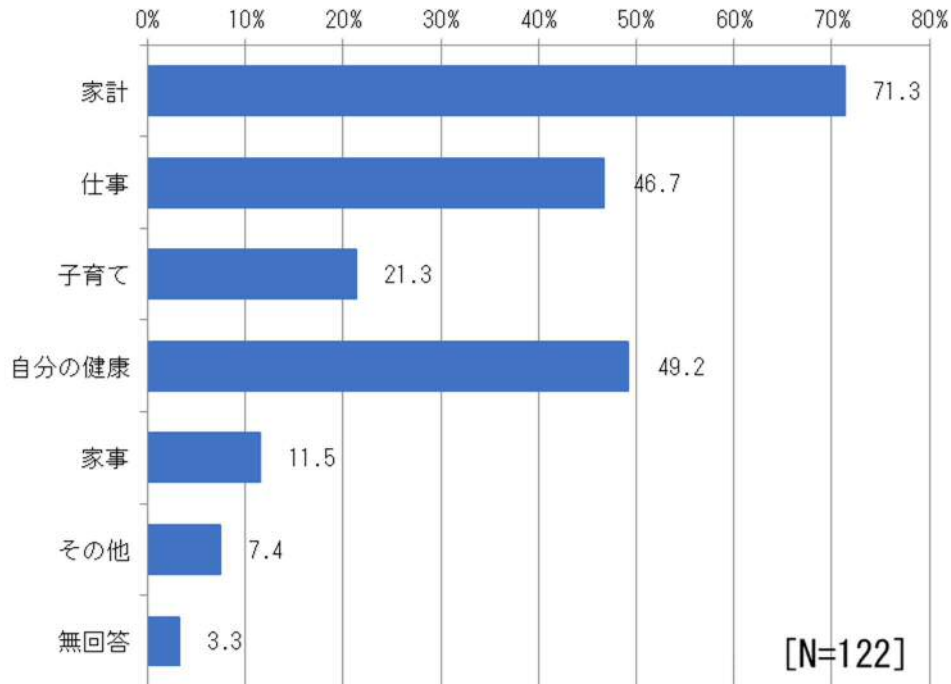
①感じている ②やや感じている ③どちらともいえない ④どちらかといえば感じていない  
 ⑤感じていない ⑥無回答



## ひとり親家庭の生活について具体的に不安を感じている事柄

(2) (1) で「1. 感じている」または「2. どちらかといえば感じている」を回答した方のみにお聞きします。あなたは、具体的にどのようなことに不安を感じていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

ひとり親家庭の生活について具体的に不安を感じている事柄については、「家計」が71.3%とも高く、次いで「自分の健康」が49.2%となっている。



### 【対象者全体】

「家計」が71.3%と最も高く、次いで「自分の健康」が49.2%、「仕事」が46.7%、「子育て」が21.3%となっている。

### 【性別】

男女ともに「家計」が最も高いが、男性が55.8%、女性が79.2%と、女性の方が23.4ポイント高くなっている。

### 【年代別】 ※10歳代、20歳代、60歳代は少数のため参考値とする。

「家計」は30歳代、40歳代、「子育て」も30歳代と40歳代、「仕事」は30～50歳代、「自分の健康」は50歳代と70歳以上で高い傾向にある。

### 【居住区別】 ※中央区以外は少数のため参考値とする。

中央区では「家計」「仕事」が全体より低くなっている。

(単位：%)

		回答者数	家計	仕事	子育て	自分の健康	家事	その他	無回答
全体		122	71.3	46.7	21.3	49.2	11.5	7.4	3.3
性別	男性	43	55.8	46.5	18.6	41.9	7.0	4.7	4.7
	女性	77	79.2	48.1	23.4	53.2	14.3	9.1	2.6
	無回答	2	100.0	-	-	50.0	-	-	-
年代別	18～19歳	3	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3
	20～29歳	3	100.0	33.3	33.3	-	-	-	-
	30～39歳	23	82.6	65.2	39.1	30.4	21.7	13.0	-
	40～49歳	33	81.8	60.6	33.3	45.5	15.2	-	3.0
	50～59歳	23	69.6	73.9	13.0	65.2	8.7	8.7	-
	60～64歳	4	50.0	-	-	50.0	-	-	-
	65～69歳	10	60.0	30.0	-	40.0	-	10.0	10.0
	70歳以上	22	54.5	4.5	4.5	77.3	9.1	13.6	4.5
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-
居住区別	中央区	21	52.4	19.0	19.0	47.6	9.5	-	9.5
	北区	18	83.3	55.6	27.8	44.4	11.1	-	-
	東区	14	71.4	57.1	28.6	42.9	7.1	7.1	7.1
	白石区	16	68.8	56.3	6.3	50.0	12.5	6.3	6.3
	厚別区	11	72.7	36.4	9.1	54.5	-	18.2	-
	豊平区	12	91.7	50.0	33.3	41.7	16.7	8.3	-
	清田区	2	-	50.0	-	100.0	50.0	-	-
	南区	7	57.1	28.6	14.3	57.1	-	42.9	-
	西区	11	90.9	63.6	27.3	54.5	9.1	9.1	-
	手稲区	9	66.7	66.7	33.3	55.6	33.3	-	-
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-

対象者全体の値と比較し10%以上高い

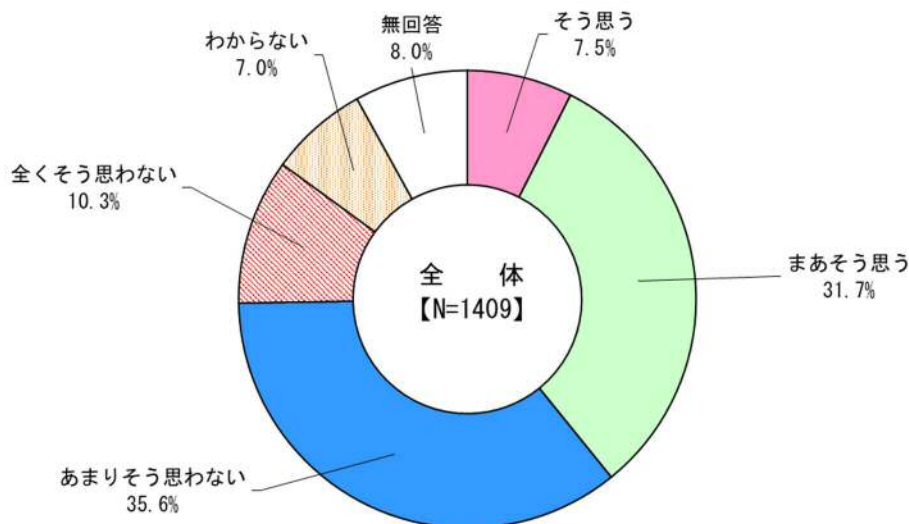
対象者全体の値と比較し10%以上低い

## 仕事と生活の調和

【問 6】仕事と生活の調和についてお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなたは、「仕事」と「家事、育児、介護、趣味などの生活」の調和がとれていると思いますか。  
あてはまるもの一つに○をつけてください。

「仕事」と「私生活」の調和については、「そう思う」(7.5%)と「まあそう思う」(31.7%)を合わせた割合が全体の約4割未満となっている。



### 【対象者全体】

「あまりそう思わない」が35.6%と最も高くなっている。次いで、「まあそう思う」が31.7%、「全くそう思わない」が10.3%となっている。

### 【性別】

男女ともに「あまりそう思わない」が最も高く、性別で大きな差は見られない。

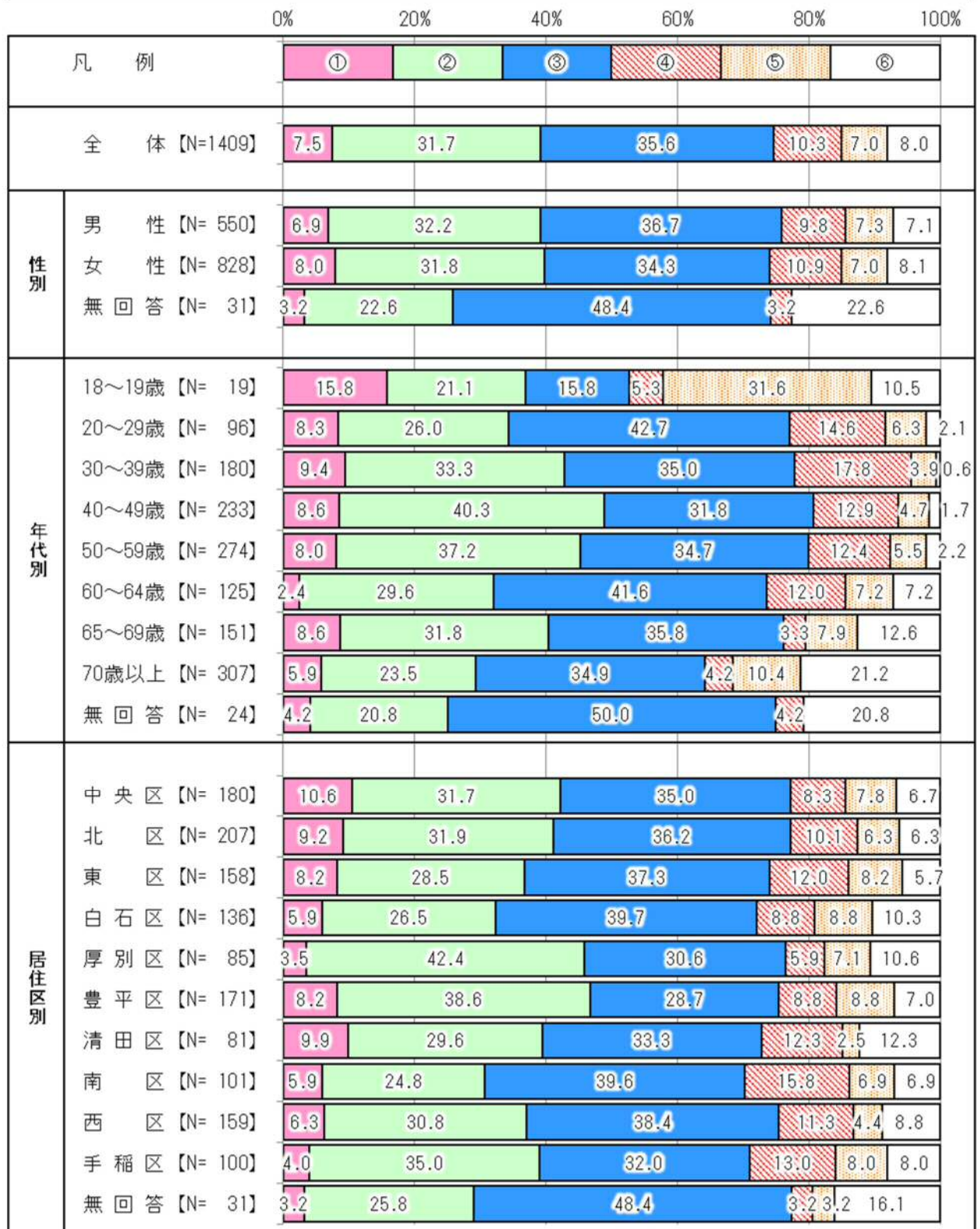
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「そう思う」「まあそう思う」の合計は、40歳代で48.9%と最も高く、70歳以上で29.4%と最も低くなっている。

### 【居住区別】

「そう思う」「まあそう思う」の合計は、豊平区で46.8%と最も高く、南区で30.7%と最も低くなっている。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答

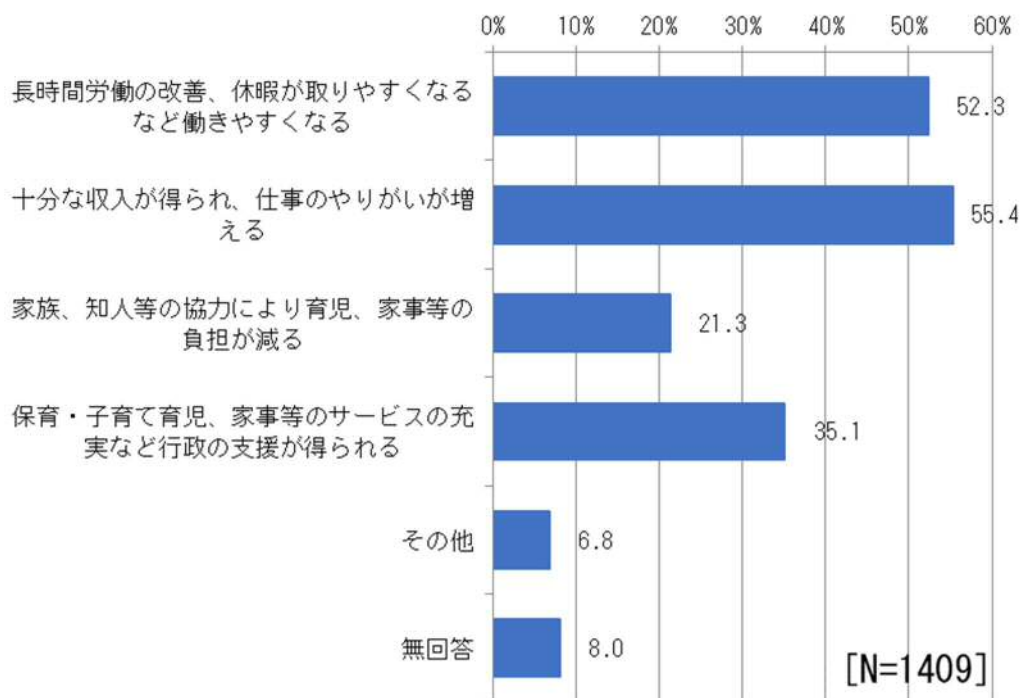




## 仕事と生活の調和がよりとれるようになると思う要素

(2) あなたはどうしたら、「仕事」と「家事・育児、介護、趣味などの生活」の調和がよりとれるようになると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「仕事」と「私生活」の調和がよりとれるようになると思う要素については、「十分な収入が得られ、仕事のやりがいが増える」が55.4%と最も高く、次いで「長時間労働の改善、休暇が取りやすくなるなど働きやすくなる」が52.3%となっている。



### 【対象者全体】

「十分な収入が得られ、仕事のやりがいが増える」が55.4%と最も高く、次いで「長時間労働の改善、休暇が取りやすくなるなど働きやすくなる」が52.3%となっている。

### 【性別】

男女ともに大きな違いは少ないが、「家族、知人等の協力により育児、家事等の負担が減る」は、男性が14.0%、女性が26.6%と、女性の方が約2倍の高さになっている。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

「長時間労働の改善、休暇が取りやすくなるなど働きやすくなる」は20歳代(64.6%)、「十分な収入が得られ、仕事のやりがいが増える」は20歳代(67.7%)と40歳代(71.2%)で特に高くなっている。

### 【居住区別】

「長時間労働の改善、休暇が取りやすくなるなど働きやすくなる」は中央区(63.3%)で特に高くなっている。

(単位：%)

		回答者数	長時間労働の改善、休暇が取りやすくなるなど働きやすくなる	十分な収入が得られ、仕事のやりがいが増える	家族、知人等の協力により育児、家事等の負担が減る	保育・子育て育児、家事等のサポートの充実など行政の支援が得られる	その他	無回答
全体		1,409	52.3	55.4	21.3	35.1	6.8	8.0
性別	男性	550	51.5	55.3	14.0	33.1	6.9	7.8
	女性	828	53.9	56.0	26.6	36.7	6.6	7.5
	無回答	31	25.8	38.7	9.7	25.8	9.7	25.8
年代別	18～19歳	19	57.9	57.9	31.6	42.1	5.3	5.3
	20～29歳	96	64.6	67.7	17.7	41.7	8.3	2.1
	30～39歳	180	62.2	61.7	30.0	43.9	3.9	0.6
	40～49歳	233	54.1	71.2	18.5	33.0	6.0	2.1
	50～59歳	274	54.7	64.6	18.2	27.4	9.1	2.6
	60～64歳	125	59.2	53.6	24.8	35.2	4.8	4.8
	65～69歳	151	55.0	45.7	20.5	47.0	6.6	11.9
	70歳以上	307	36.8	33.9	21.5	30.0	7.5	22.1
	無回答	24	25.0	41.7	8.3	33.3	8.3	20.8
居住区別	中央区	180	63.3	51.7	23.9	36.1	5.6	7.2
	北区	207	55.1	56.5	24.6	35.7	5.3	7.2
	東区	158	52.5	58.2	22.2	31.6	5.7	4.4
	白石区	136	47.1	58.8	22.8	30.1	6.6	10.3
	厚別区	85	48.2	55.3	10.6	40.0	5.9	10.6
	豊平区	171	55.6	52.6	20.5	38.0	6.4	8.2
	清田区	81	49.4	51.9	21.0	28.4	7.4	9.9
	南区	101	48.5	55.4	21.8	36.6	8.9	8.9
	西区	159	47.8	55.3	19.5	35.2	8.8	7.5
	手稲区	100	50.0	60.0	24.0	41.0	10.0	7.0
	無回答	31	35.5	48.4	6.5	25.8	6.5	16.1

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

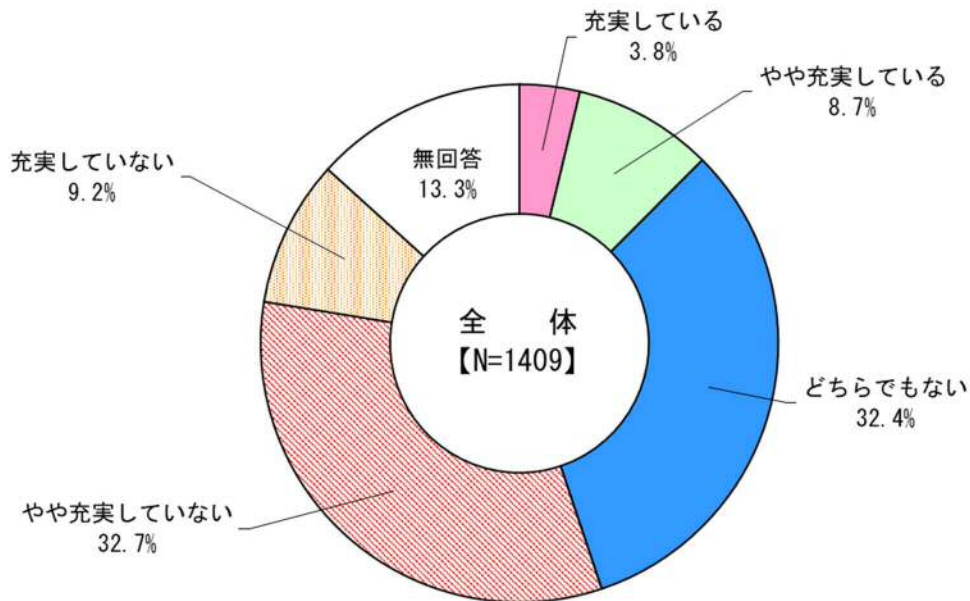
## 子ども・子育て支援施策の充実度

【問 7】あなたは、札幌市の子ども・子育て支援施策について、どの程度充実していると思いますか。  
各項目についてあてはまるもの一つに○をつけてください。

子育てしやすい環境について

### ① 子連れでも出かけやすく楽しめる場の確保

子連れでも出かけやすく楽しめる場の確保について、「やや充実していない」(32.7%)と「充実していない」(9.2%)をあわせた割合は約4割である。



### 【対象者全体】

「やや充実していない」が32.7%と最も高くなっている。次いで、「どちらでもない」が32.4%、「充実していない」と「やや充実していない」を合わせると41.9%、「充実している」と「やや充実している」を合わせると12.5%、「どちらでもない」が32.4%となっている。

### 【性別】

男性「やや充実していない」と「どちらでもない」が34.4%と最も高く、女性は「やや充実していない」が32.2%と最も高くなっていて大きな差は見られない。

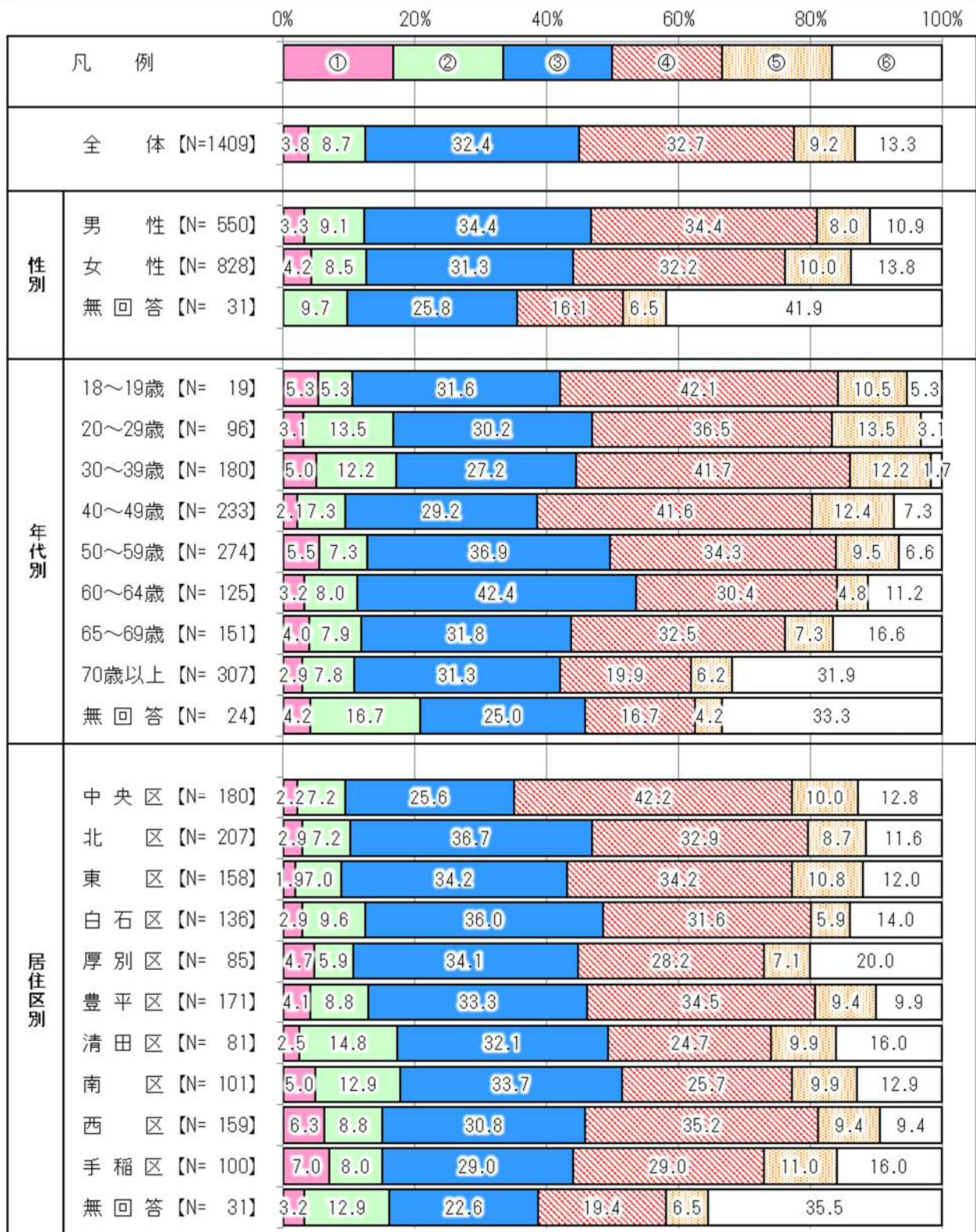
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代～40歳代は「やや充実していない」がもっとも高く、50歳代以上では「どちらでもない」が最も高くなっている。

### 【居住区別】

中央区、豊平区、西区では「やや充実していない」が、北区、白石区、厚別区、清田区、南区では「どちらでもない」が最も多くなっている。東区と手稲区では「やや充実していない」と「どちらでもない」が同数となっている。

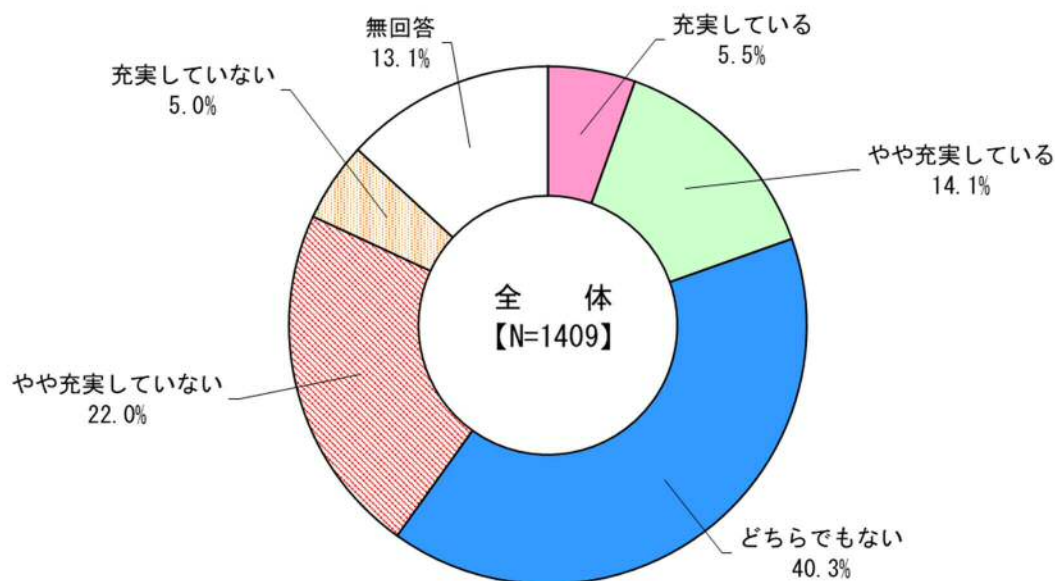
①充実 ②やや充実 ③どちらでもない ④やや充実していない ⑤充実していない ⑥無回答



## 子育てしやすい環境について

### ② 放課後の子どもの生活の場など居場所づくり

放課後の子どもの居場所づくりについて、「どちらでもない」が（40.3%）と最も高い。



#### 【対象者全体】

「どちらでもない」が40.3%と最も高くなっている。次いで、「やや充実していない」が22.0%、「やや充実している」が14.1%、「充実している」が5.5%、「充実していない」が5.0%となっている。

#### 【性別】

男性、女性ともに「どちらでもない」が最も高い。

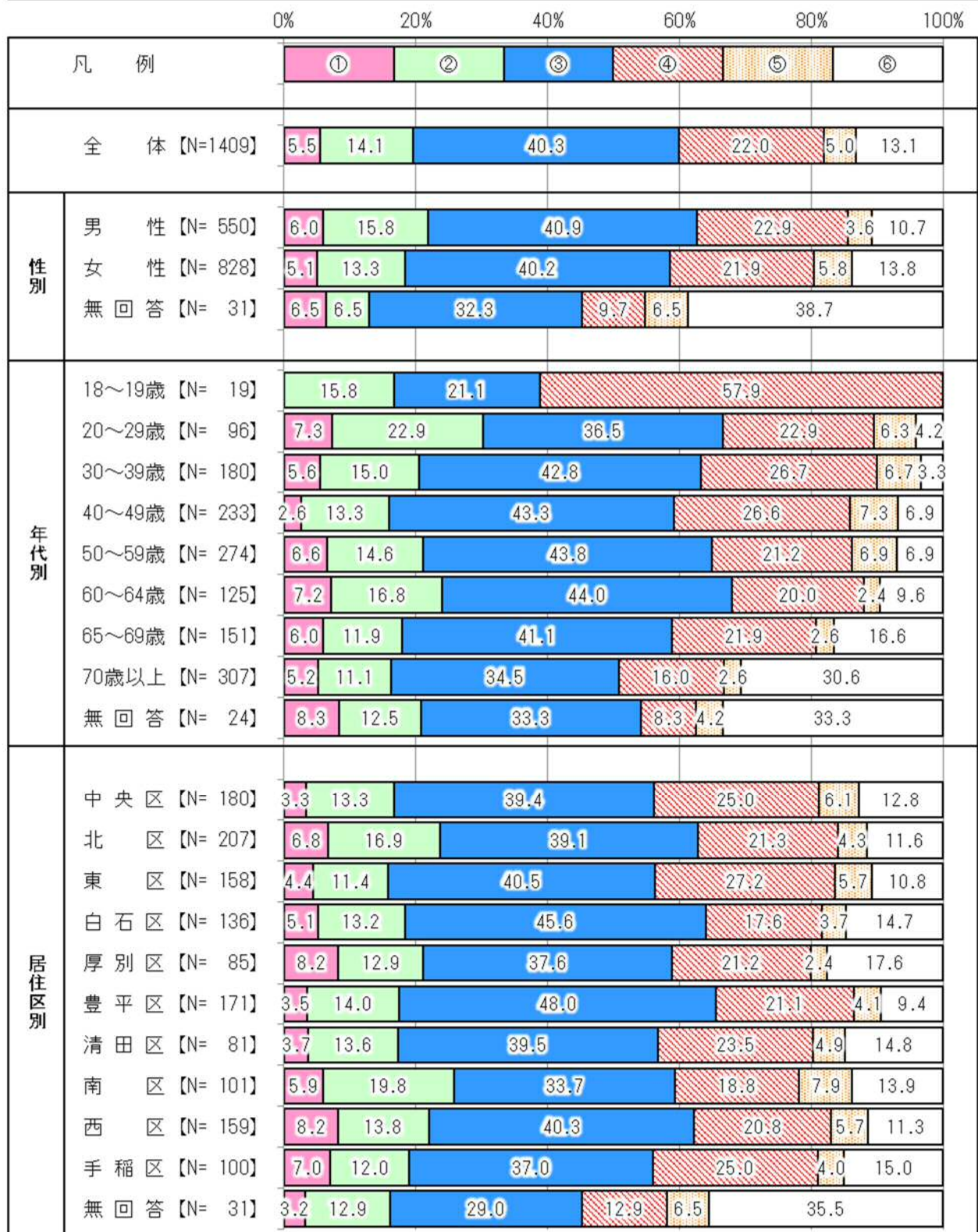
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代では「充実している」(7.3%)と「やや充実している」(22.9%)を合わせた割合が高く、40歳代では「充実していない」(7.3%)と「やや充実していない」(26.6%)を合わせた割合が最も高くなっている。

#### 【居住区別】

中央区と東区では「充実していない」と「やや充実していない」を合わせた割合が30%を超えており、南区では「充実している」「やや充実している」を合わせた割合が25%を超えている。

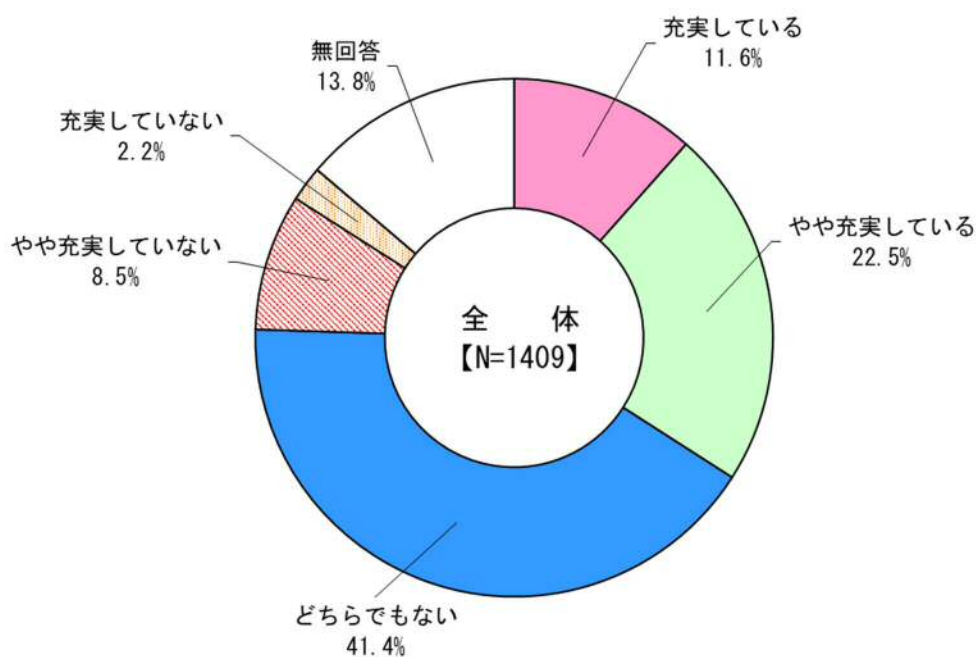
①充実 ②やや充実 ③どちらでもない ④やや充実していない ⑤充実していない ⑥無回答



## 子育てしやすい環境について

### ③ 子育てしやすい環境に向けた企業に対する改善の働きかけ

子育てしやすい環境に向けた企業に対する改善の働きかけについて、「やや充実している」(22.5%)と「充実している」(11.6%)が34.1%である。



#### 【対象者全体】

「どちらでもない」が41.4%と最も高くなっている。次いで、「やや充実している」が22.5%、「充実している」が11.6%となっている。

#### 【性別】

男性、女性ともに「どちらでもない」が最も高く、差はあまり見られない。

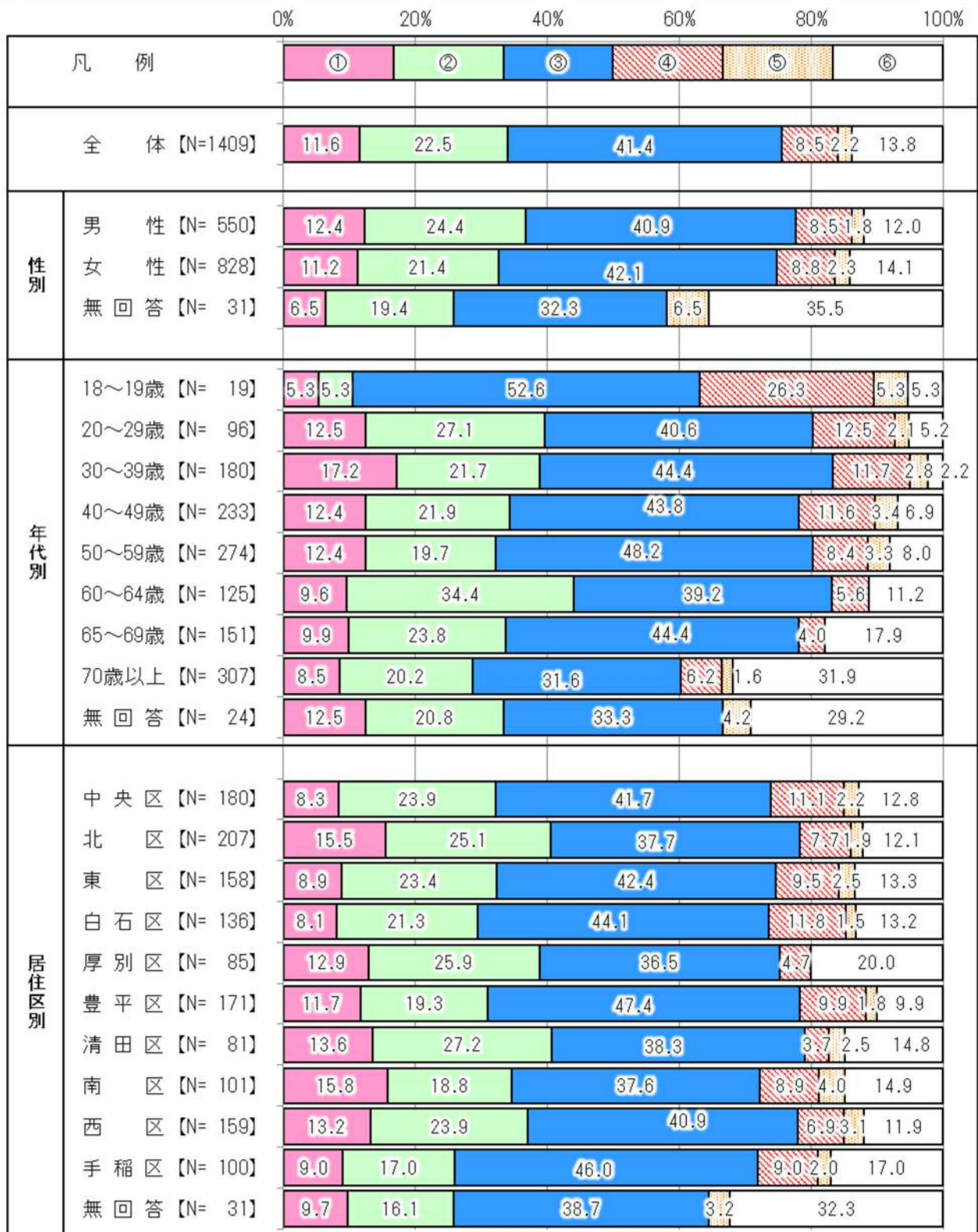
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

すべての年代で「どちらでもない」が最も高くなっている。60歳代前半では「充実している」(9.6%)、「やや充実している」(34.4%)を合わせた割合が他の年代よりも高くなっている。

#### 【居住区別】

手稲区では「やや充実している」(17.0%)と「充実している」(9%)を合わせた割合が他の居住区よりも低くなっている。

①充実 ②やや充実 ③どちらでもない ④やや充実していない ⑤充実していない ⑥無回答

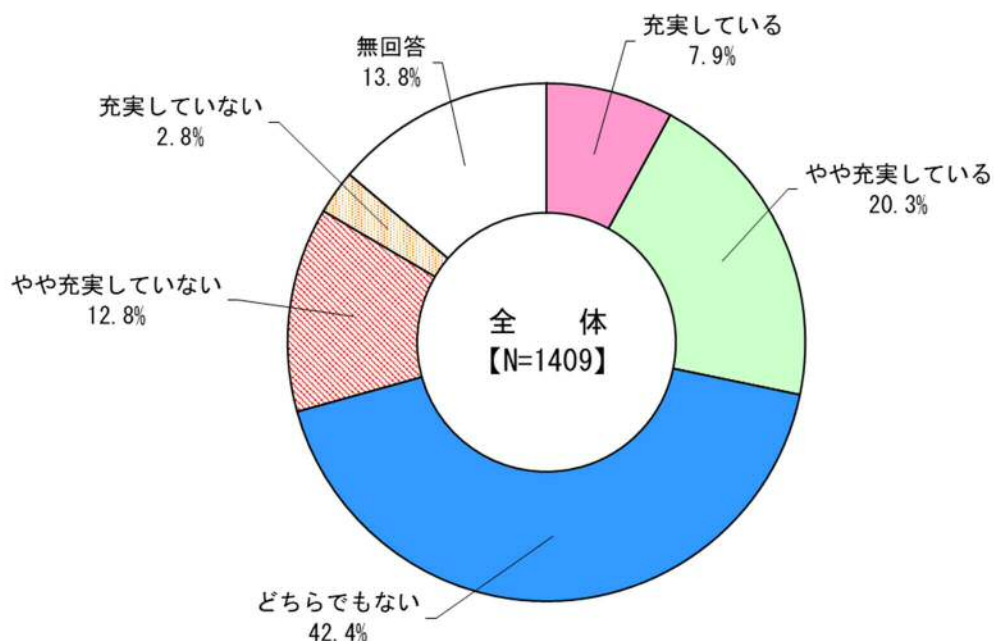




## 子ども支援・子育て支援サービスについて

### ④ 待機児童対策や子育て支援サービスの提供

待機児童対策や子育て支援サービスの提供について、「どちらでもない」(42.4%)がもっとも多く、次いで「やや充実している」(20.3%)が高くなっている。



#### 【対象者全体】

「どちらでもない」が42.4%と最も高くなっている。次いで、「やや充実している」が20.3%、「やや充実していない」が12.8%、「充実している」が7.9%、「充実していない」が2.8%となっている。

#### 【性別】

男性、女性ともに「どちらでもない」が最も高く、その他の割合もほぼ同様となっている。

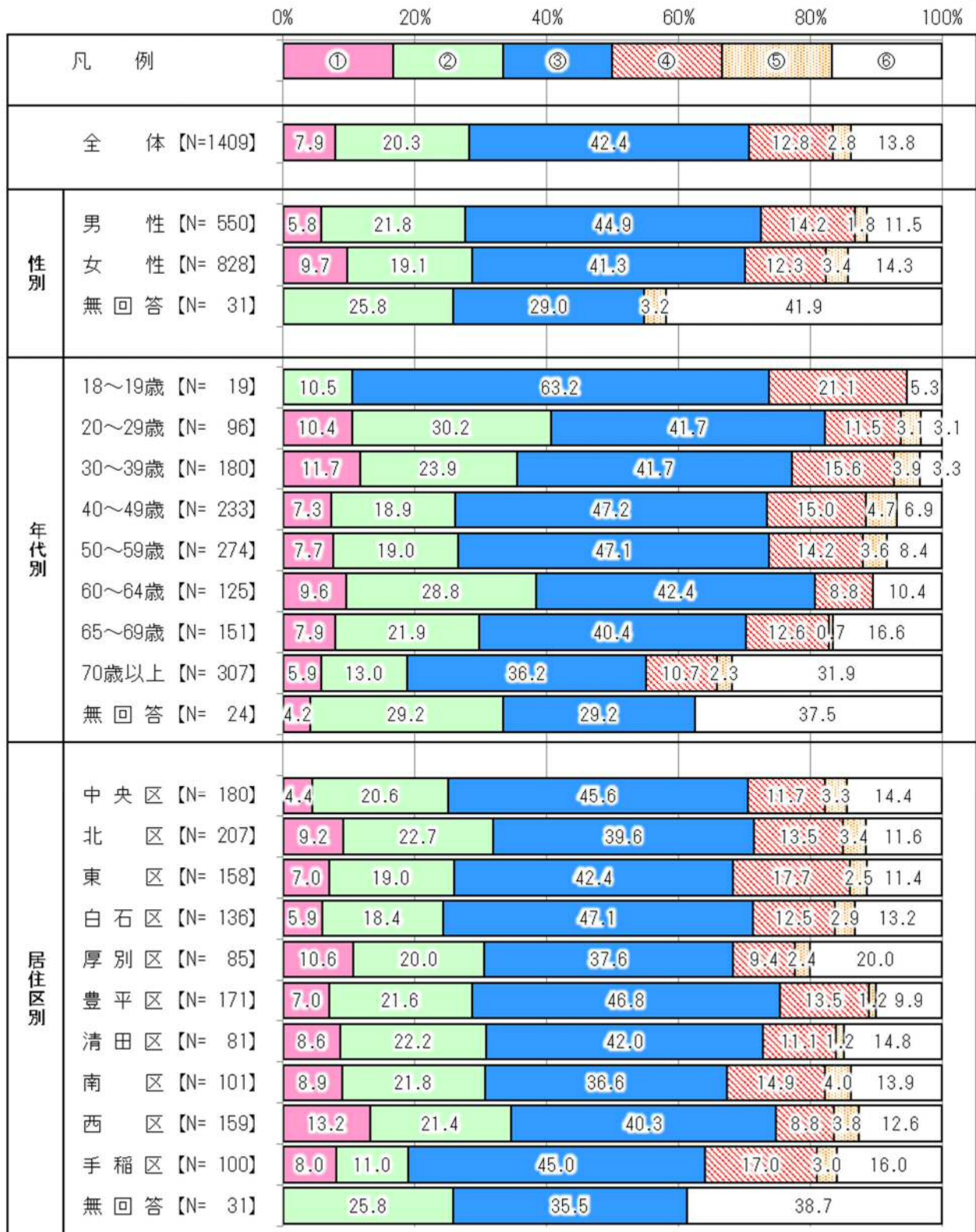
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代では「充実している」と「やや充実している」を合わせて4割以上になっている。70歳以上では「充実している」と「やや充実している」を合わせて2割以下になっている。

#### 【居住区別】

西区では「充実している」が13.2%と最も高く、手稲区では「充実している」「やや充実している」を合わせて19.0%と他の区に比べ最も低くなっている。

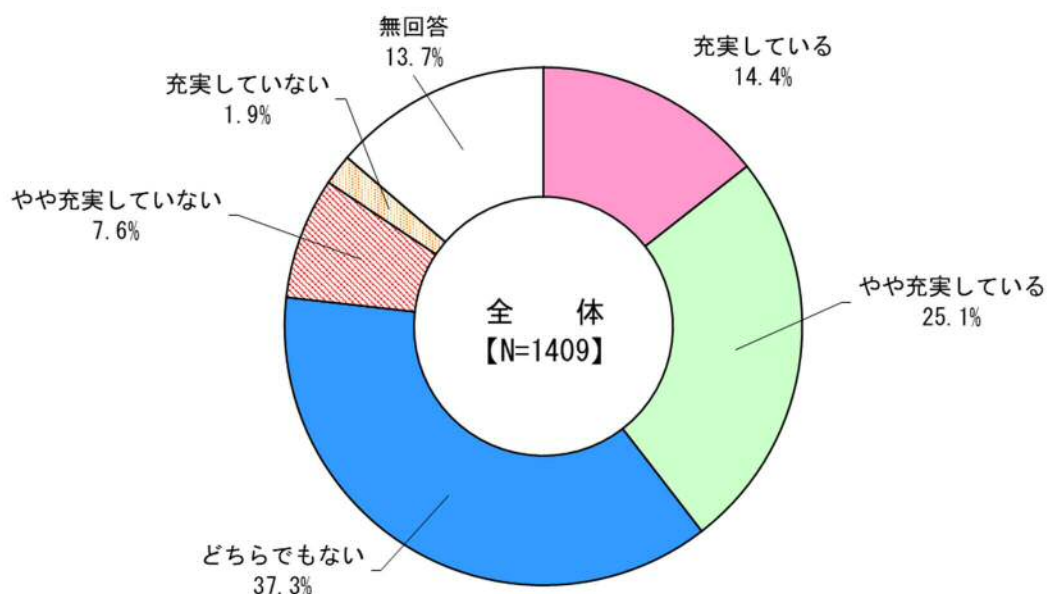
①充実 ②やや充実 ③どちらでもない ④やや充実していない ⑤充実していない ⑥無回答



## 子育てしやすい環境について

### ⑤ いじめや虐待から子どもを守る取組

いじめや虐待から子どもを守る取組について、「やや充実している」(25.1%)と「充実している」(14.4%)をあわせた割合は約4割である。



#### 【対象者全体】

「どちらでもない」が37.3%と最も高くなっている。次いで、「やや充実している」が25.1%、「充実している」が14.4%、「やや充実していない」が7.6%、「充実していない」が1.9%となっている。

#### 【性別】

男性、女性ともに「どちらでもない」が最も高く、あまり差はみられない。

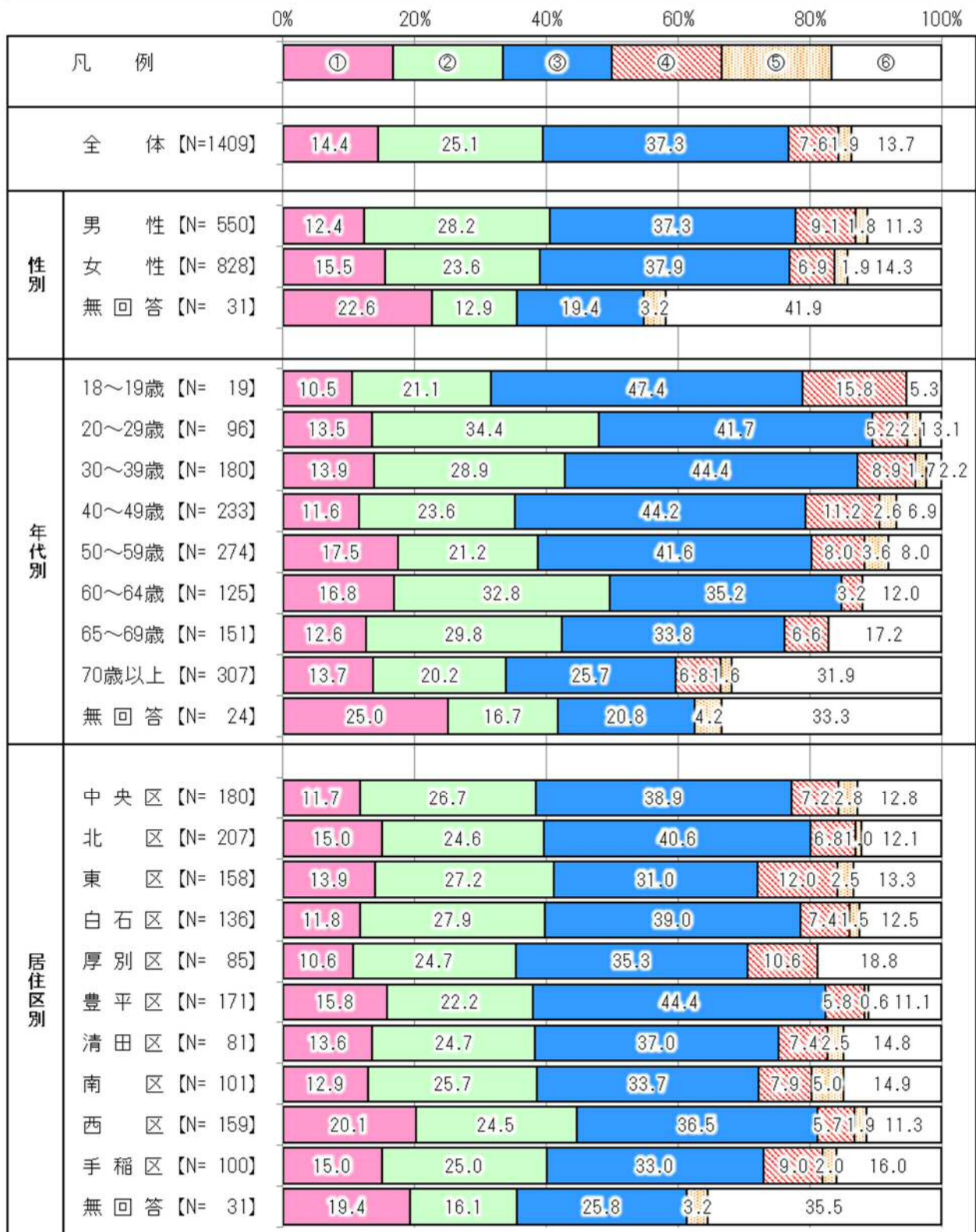
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

すべての年代で「どちらでもない」が最も高く、20歳代、60歳代前半では「充実している」「やや充実している」を合わせた割合が全体より高くなっている。

#### 【居住区別】

西区では「充実している」が20.1%と他の区に比べて最も高くなっている。

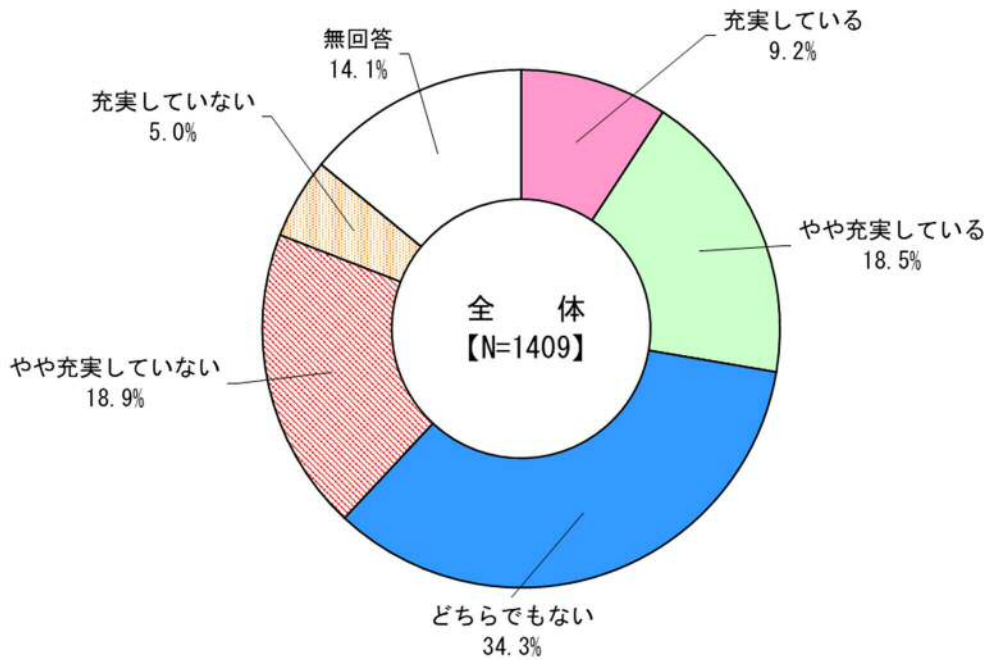
①充実 ②やや充実 ③どちらでもない ④やや充実していない ⑤充実していない ⑥無回答



## 経済的支援について

### ⑥ 幼児教育・保育、医療費など子育て支援にかかる費用の軽減

子育て支援にかかる費用の軽減について、「どちらでもない」が（34.3%）と最も高い。



#### 【対象者全体】

「やや充実している」（18.5%）と「やや充実していない」（18.9%）ほぼ同数となっていて、「充実している」と「充実していない」もあまり差がみられない。

#### 【性別】

男性に比べ女性は「充実している」「やや充実している」を合わせた割合が低く、「充実していない」「やや充実していない」の割合が高い。

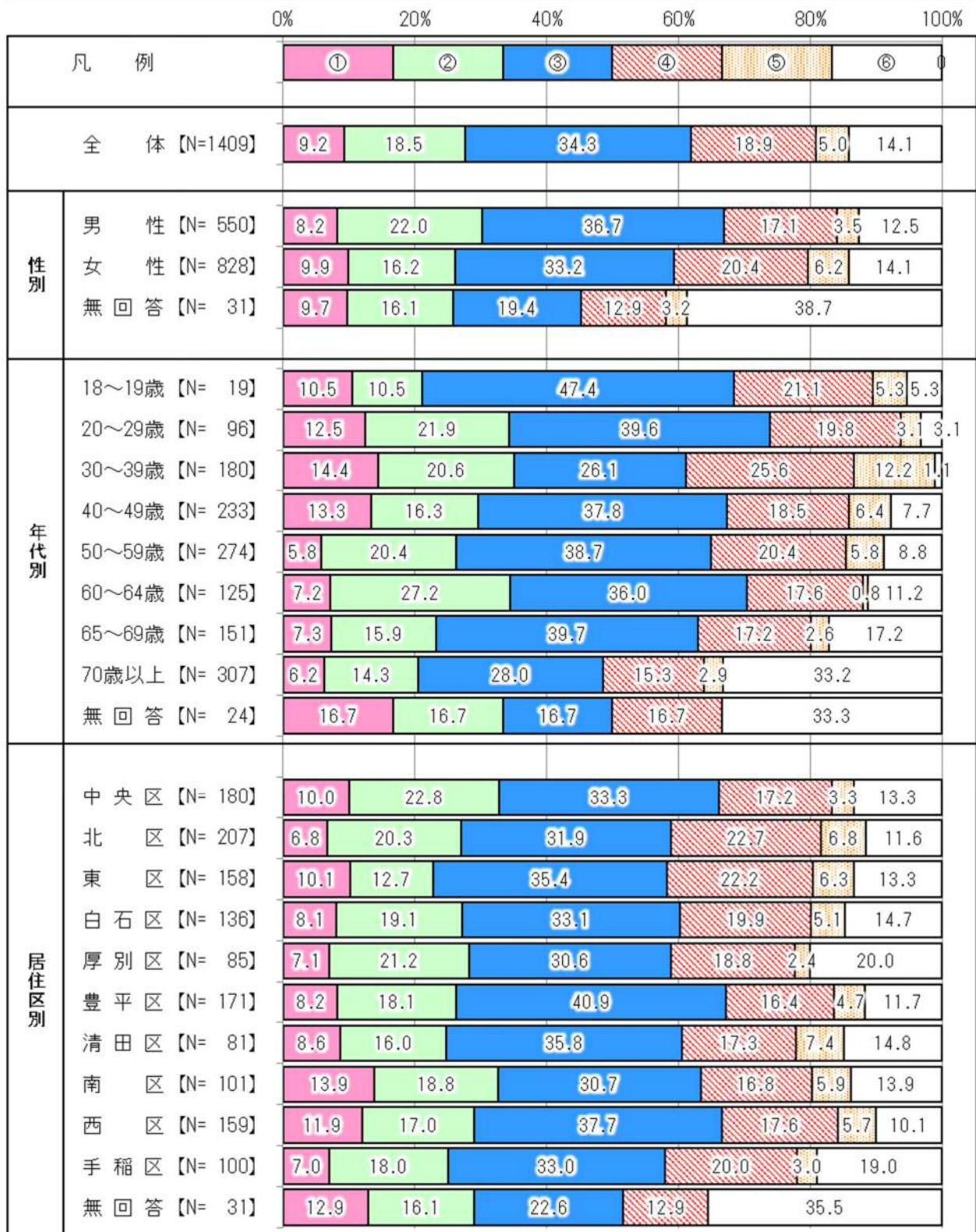
#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

20歳代~40歳代では「充実している」の割合が10%を超えている。30歳代は「充実していない」（12.2%）の割合も他の年代に比べ高くなっている。

#### 【居住区別】

すべての区において「どちらでもない」が最も高く、「充実している」と「やや充実している」を合わせた割合と「充実していない」「やや充実していない」を合わせた割合は区による差はあまり見られない。

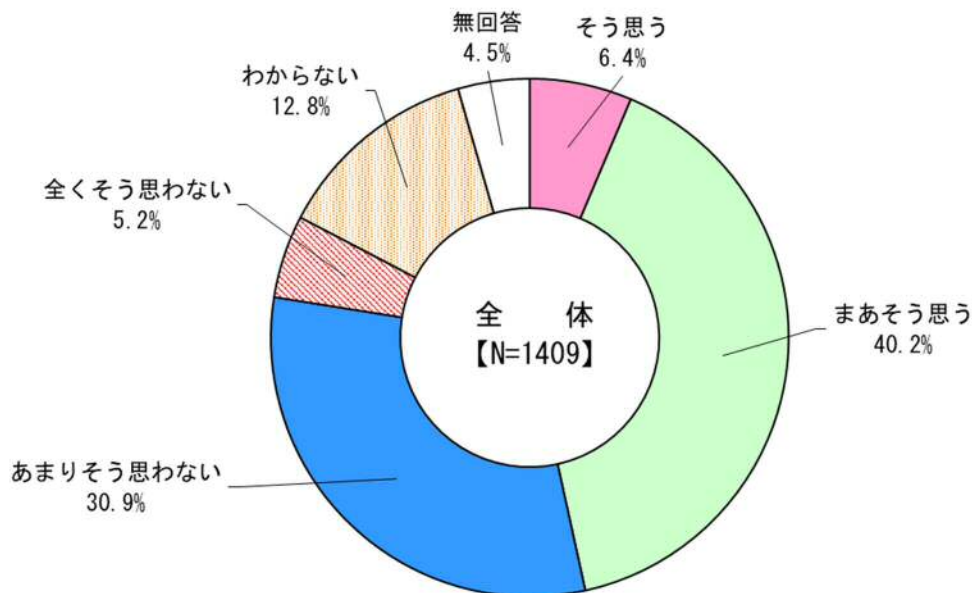
①充実 ②やや充実 ③どちらでもない ④やや充実していない ⑤充実していない ⑥無回答



## 子どもの生み育てやすい環境

【問 8】あなたは、札幌市が、子どもを生み育てやすい環境にあると思いますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

子どもを生み育てやすい環境にあるかについては、「まあそう思う」が40.2%と最も高くなっている。



### 【対象者全体】

「まあそう思う」が40.2%と最も高くなっている。次いで、「あまりそう思わない」が30.9%となっている。

### 【性別】

男女ともに「まあそう思う」が最も高く、男性が40.5%、女性が40.3%となっている。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

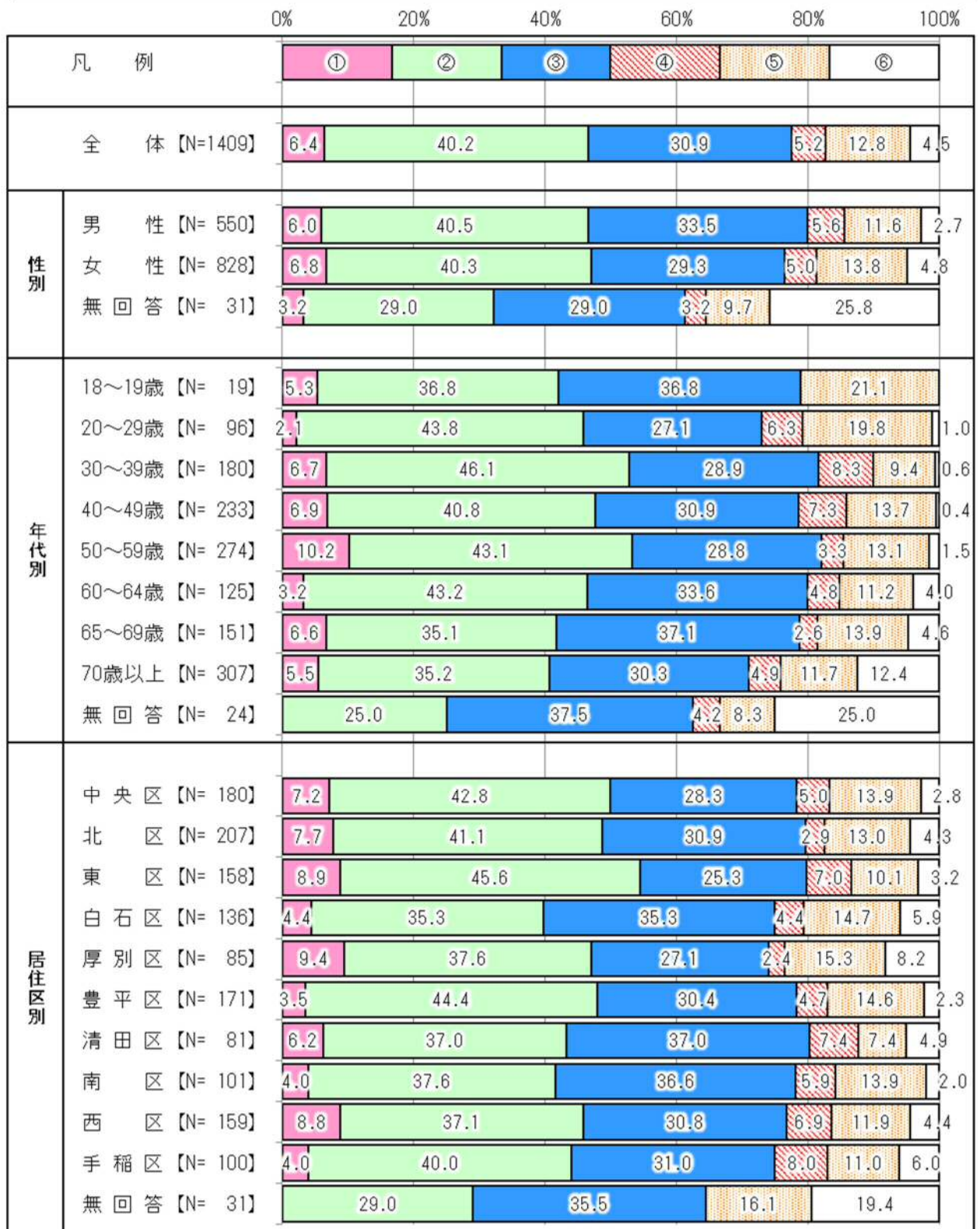
60歳代前半までは「まあそう思う」が最も高くなっている。

30歳代と50歳代では「そう思う」と「まあそう思う」を合わせて5割を超えている。

### 【居住区別】

全居住区で「まあそう思う」が最も高くなっている。白石区では「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が4割以下である。

①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



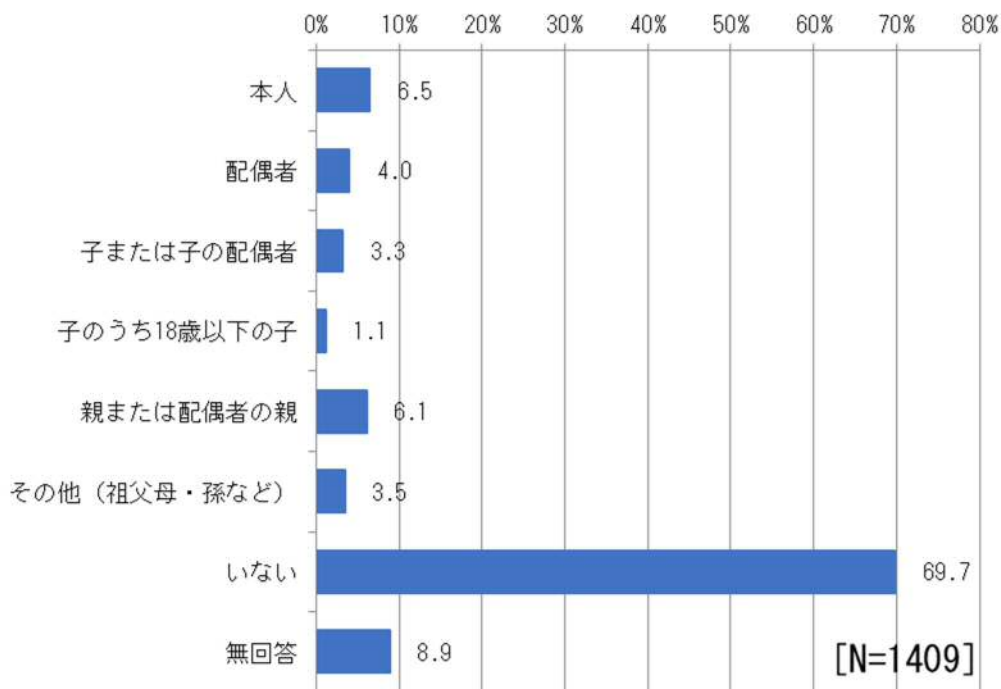


## 障がいのある方の暮らしやすさ

【問 9】障がいのある方にとっての地域での暮らしやすさについてお聞きします。各項目についてお答えください。

- (1) あなた、またはあなたの同居のご家族で障がいのある方はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(ここで言う「障がいのある方」とは、障害者手帳の有無に関わりません。)

障がいのある家族の有無については、「いない」が 69.7%と最多である。



### 【対象者全体】

「いない」が 69.7%と最も高くなっている。次いで、「本人」が 6.5%、「親または配偶者の親」が 6.1%となっている。

### 【性別】

男女ともに「いない」が最も高く、男性が 67.1%、女性が 72.3%となっている。

### 【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

20 歳代で「本人」の割合が 10%を超えている。50 歳代では「親または配偶者の親」が 10%を超えている。

### 【居住区別】

区による大きな差は見られない。

(単位：%)

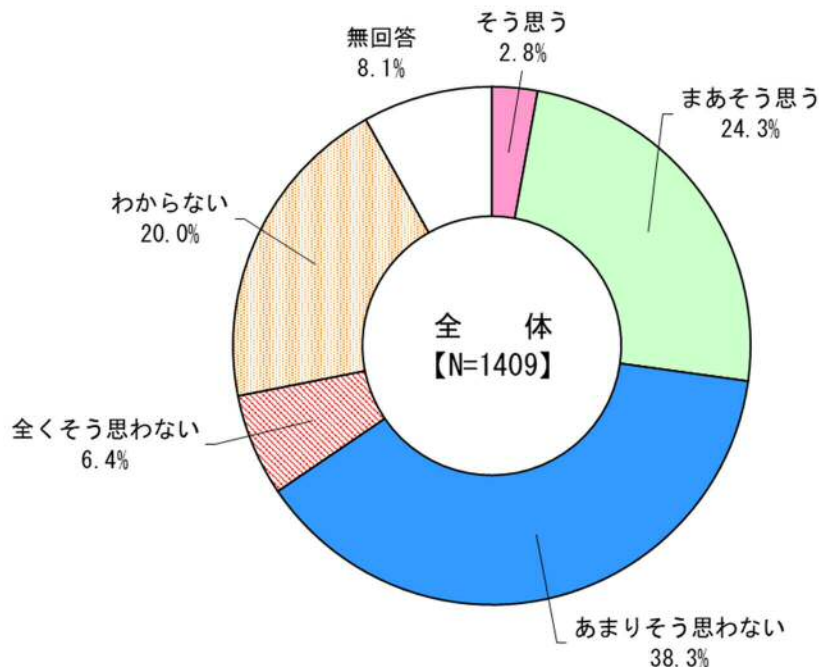
		回答者数	本人	配偶者	子または子の配偶者	子のうち18歳以下の子	親または配偶者の親	その他(祖父母・孫など)	いない	無回答
全体		1,409	6.5	4.0	3.3	1.1	6.1	3.5	69.7	8.9
性別	男性	550	8.5	5.3	2.9	0.9	8.2	4.0	67.1	8.0
	女性	828	5.2	3.1	3.4	1.3	4.8	3.1	72.3	8.6
	無回答	31	3.2	6.5	6.5	-	3.2	3.2	45.2	32.3
年代別	18～19歳	19	10.5	-	-	-	5.3	-	89.5	-
	20～29歳	96	10.4	1.0	-	-	3.1	7.3	79.2	1.0
	30～39歳	180	3.3	1.7	1.1	3.9	6.1	3.9	81.7	2.8
	40～49歳	233	5.6	1.7	2.1	2.1	8.2	2.1	76.4	4.3
	50～59歳	274	5.8	0.7	2.9	1.1	10.6	2.9	71.5	6.2
	60～64歳	125	6.4	4.0	4.8	-	5.6	2.4	72.0	6.4
	65～69歳	151	7.9	7.3	4.6	-	6.0	6.0	60.3	13.2
	70歳以上	307	7.5	9.4	4.9	0.3	2.0	3.3	57.7	18.6
	無回答	24	4.2	8.3	12.5	-	4.2	-	41.7	29.2
居住区別	中央区	180	5.0	0.6	2.2	1.7	5.0	2.8	75.0	9.4
	北区	207	6.8	2.9	2.9	1.9	5.8	3.4	71.0	8.7
	東区	158	9.5	5.7	1.9	-	8.2	6.3	69.6	4.4
	白石区	136	5.1	6.6	2.9	2.2	5.1	4.4	69.1	8.1
	厚別区	85	4.7	3.5	5.9	1.2	8.2	3.5	62.4	12.9
	豊平区	171	7.6	3.5	2.9	0.6	4.7	2.9	73.7	5.8
	清田区	81	4.9	6.2	1.2	1.2	6.2	2.5	64.2	14.8
	南区	101	8.9	6.9	5.9	-	5.9	1.0	68.3	7.9
	西区	159	8.2	5.0	3.8	1.9	6.9	3.1	67.3	8.2
	手稲区	100	1.0	1.0	3.0	-	7.0	5.0	74.0	10.0
	無回答	31	6.5	6.5	9.7	-	3.2	-	48.4	25.8

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(2) あなたは、札幌市が、障がいのある方にとって地域で暮らしやすいまちであると思いますか。  
あてはまるもの一つに○をつけてください。

障がい者の暮らしやすさについては、「あまりそう思わない」が38.3%と最も高くなっている。



【対象者全体】

「あまりそう思わない」が38.3%と最も高くなっている。次いで、「まあそう思う」が24.3%、「わからない」が20.0%となっている。

【性別】

男女ともに「あまりそう思わない」が最も高く、男性が38.2%、女性が38.5%となっている。

【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

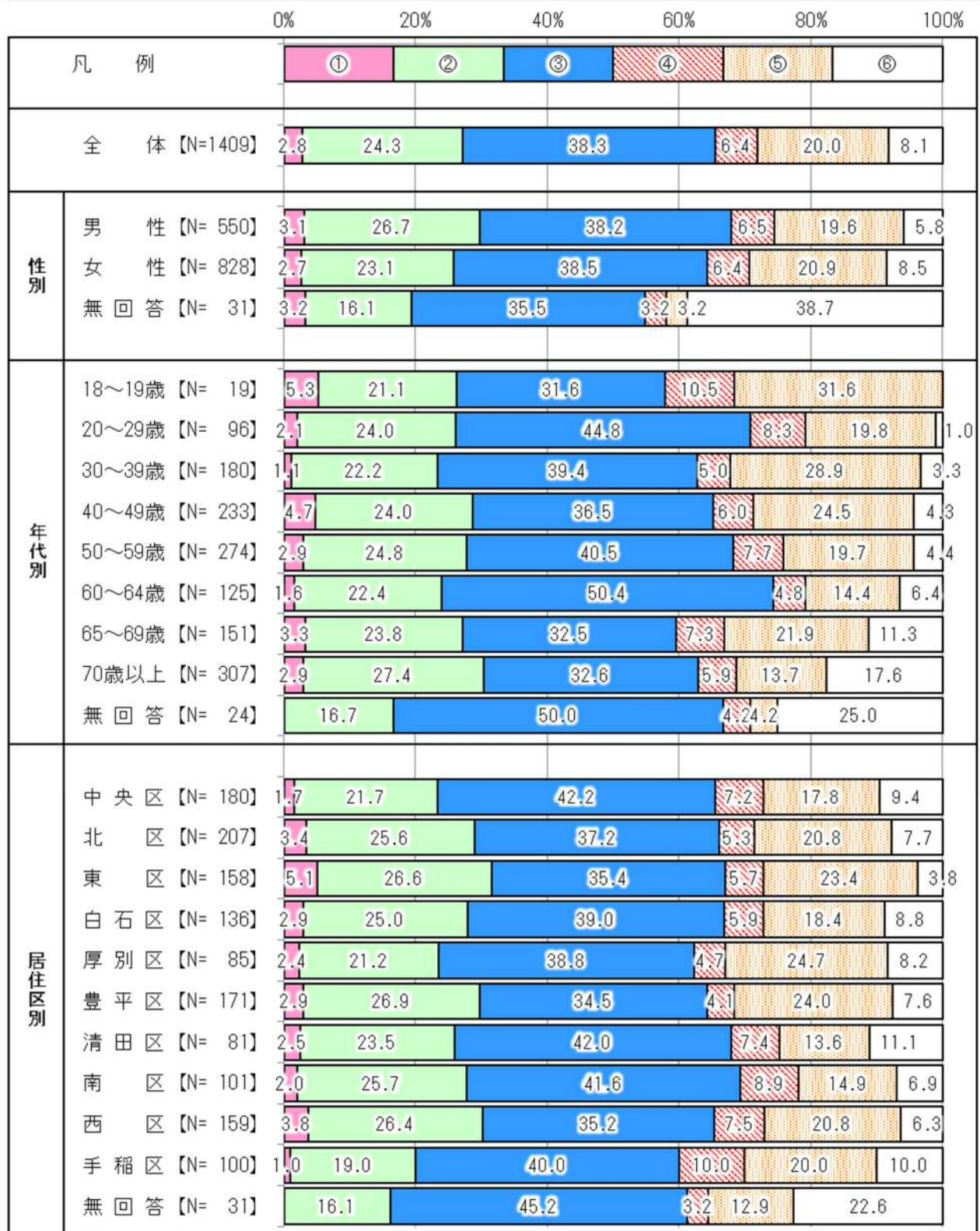
全年代で「あまりそう思わない」が最も高くなっている。60歳代前半は50.4%と他の年代に比べ高くなっている。

【居住区別】

全居住区で「あまりそう思わない」が最も高くなっている。

手稲区では「まあそう思う」が19.0%と全体よりも低くなっている。

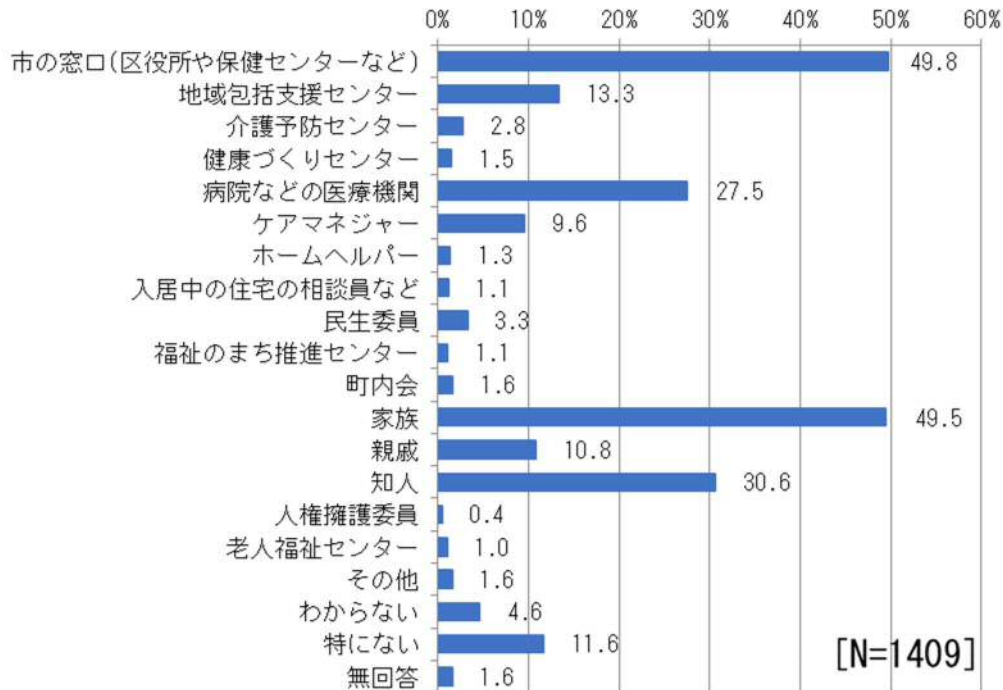
①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④全くそう思わない ⑤わからない ⑥無回答



## 生活や健康福祉の相談先

【問 10】あなたは、生活や健康福祉に関して困っていることや相談したいことについてどこに相談していますか。または、どこに相談しようと思いますか。もっともあてはまるものすべてに○をつけてください。

生活や健康福祉の相談先については、「区役所や保険センターなど市の窓口」が 49.8%と最も高く、次いで「家族」が 49.5%となっている。



### 【対象者全体】

「市の窓口（区役所や保健センターなど）」が 49.8%と最も高く、次いで「家族」が 49.5%とほぼ同数となっている。

### 【性別】

男性では「市の窓口（区役所や保健センターなど）」が 51.6%と最も高く、女性では「家族」が 54.2%と最も高くなっている。

### 【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。

20 歳代、30 歳代では「家族」が最も高く、60 歳代、70 歳以上では「市の窓口（区役所や保健センターなど）」が最も高い。

### 【居住区別】

区による大きな差は見られない。

	回答者数	市の窓口（区役所や保健センターなど）	地域包括支援センター	介護予防センター	健康づくりセンター	病院などの医療機関	ケアマネジャー	ホームヘルパー	入居中の住宅の相談員など	民生委員	
全体	1,409	49.8	13.3	2.8	1.5	27.5	9.6	1.3	1.1	3.3	
性別	男性	550	51.6	10.4	2.5	2.0	28.7	10.4	1.3	1.1	4.4
	女性	828	49.4	15.6	3.0	1.2	27.3	9.1	1.2	1.1	2.7
	無回答	31	25.8	6.5	-	-	12.9	9.7	6.5	3.2	-
年代別	18～19歳	19	31.6	5.3	-	5.3	10.5	-	-	-	-
	20～29歳	96	51.0	5.2	1.0	2.1	22.9	4.2	1.0	-	-
	30～39歳	180	51.1	3.3	0.6	-	23.9	2.2	0.6	-	0.6
	40～49歳	233	46.8	6.4	0.9	2.1	29.6	7.3	0.4	0.9	1.3
	50～59歳	274	50.4	11.3	2.9	0.7	24.8	9.1	1.1	0.7	1.1
	60～64歳	125	47.2	19.2	0.8	1.6	25.6	17.6	1.6	1.6	1.6
	65～69歳	151	60.3	21.2	2.0	2.0	31.8	11.3	-	2.6	6.0
	70歳以上	307	49.5	23.8	7.2	2.0	32.6	14.3	2.6	1.6	9.1
	無回答	24	20.8	4.2	4.2	-	16.7	8.3	12.5	4.2	-
居住区別	中央区	180	48.3	16.7	3.3	2.8	32.8	10.0	2.2	-	3.3
	北区	207	47.8	13.5	2.9	1.0	26.6	9.7	1.0	1.4	2.9
	東区	158	55.1	12.7	1.3	3.2	27.8	10.8	1.9	1.3	1.9
	白石区	136	50.7	9.6	2.9	0.7	25.7	11.0	2.2	0.7	2.9
	厚別区	85	51.8	16.5	2.4	2.4	27.1	14.1	-	-	4.7
	豊平区	171	52.6	9.9	1.8	0.6	25.1	6.4	1.8	0.6	3.5
	清田区	81	56.8	17.3	2.5	1.2	22.2	9.9	-	2.5	1.2
	南区	101	51.5	22.8	5.0	3.0	32.7	14.9	1.0	4.0	8.9
	西区	159	44.0	8.2	2.5	0.6	25.2	5.7	-	1.3	2.5
	手稲区	100	49.0	14.0	4.0	-	33.0	7.0	-	-	3.0
	無回答	31	25.8	6.5	3.2	-	16.1	9.7	9.7	3.2	-

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

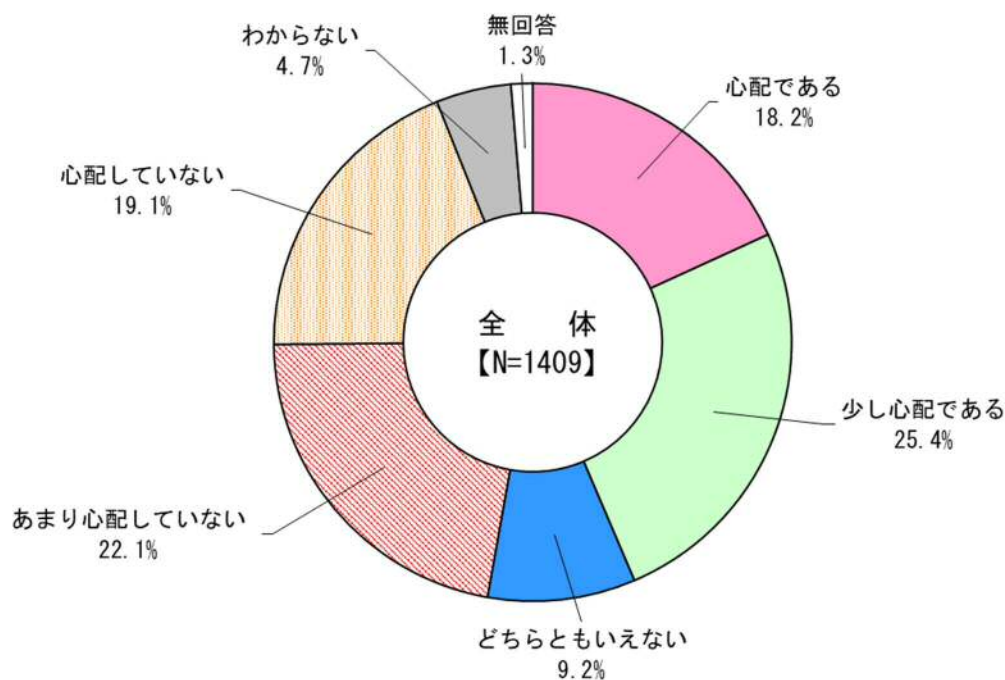
	回答者数	福祉のまち推進センター	町内会	家族	親戚	知人	人権擁護委員	老人福祉センター	その他	わからない	特にない	無回答	
全体	1,409	1.1	1.6	49.5	10.8	30.6	0.4	1.0	1.6	4.6	11.6	1.6	
性別	男性	550	1.3	1.8	43.5	12.9	26.0	0.7	1.5	1.1	3.6	14.4	1.3
	女性	828	1.0	1.4	54.2	9.5	34.4	0.1	0.6	1.9	5.0	9.9	1.0
	無回答	31	-	3.2	29.0	6.5	9.7	3.2	3.2	-	12.9	9.7	22.6
年代別	18～19歳	19	5.3	-	52.6	5.3	31.6	-	-	-	5.3	21.1	-
	20～29歳	96	-	2.1	65.6	12.5	37.5	-	-	2.1	4.2	11.5	-
	30～39歳	180	0.6	-	64.4	15.6	50.0	-	-	1.1	7.8	9.4	0.6
	40～49歳	233	0.4	-	58.4	8.2	39.1	0.4	-	2.6	5.2	11.6	-
	50～59歳	274	0.4	1.1	47.8	12.8	29.2	-	1.1	2.2	5.8	12.8	-
	60～64歳	125	-	0.8	45.6	9.6	29.6	-	0.8	0.8	4.0	16.0	0.8
	65～69歳	151	1.3	1.3	45.0	10.6	21.2	1.3	0.7	-	2.6	8.6	0.7
	70歳以上	307	2.9	4.9	35.8	8.8	18.6	0.7	2.6	1.6	1.6	11.1	4.6
	無回答	24	-	-	25.0	8.3	8.3	4.2	4.2	-	16.7	12.5	20.8
居住区別	中央区	180	1.1	1.7	47.8	11.7	36.7	-	1.1	2.2	5.0	11.1	1.7
	北区	207	1.0	2.9	54.1	9.7	32.4	0.5	-	2.9	3.9	11.6	1.4
	東区	158	1.3	0.6	49.4	8.2	28.5	0.6	0.6	1.3	5.1	9.5	-
	白石区	136	1.5	0.7	48.5	10.3	24.3	-	1.5	1.5	4.4	12.5	1.5
	厚別区	85	2.4	4.7	40.0	9.4	27.1	-	-	1.2	5.9	10.6	-
	豊平区	171	-	0.6	52.0	16.4	36.3	-	1.2	-	4.1	15.2	1.2
	清田区	81	-	1.2	51.9	8.6	30.9	-	-	2.5	6.2	9.9	2.5
	南区	101	3.0	3.0	44.6	11.9	28.7	2.0	3.0	3.0	5.0	7.9	-
	西区	159	1.3	1.9	52.8	10.7	34.6	-	1.3	1.3	2.5	14.5	1.3
	手稲区	100	-	-	53.0	9.0	24.0	1.0	1.0	-	4.0	10.0	3.0
	無回答	31	-	-	25.8	9.7	6.5	3.2	3.2	-	12.9	12.9	16.1

## 孤立死の心配

【問 11】あなたは、孤立死※について心配がありますか。あてはまるもの一つに○をつけてください

※ 孤立死とは、周囲との交流が無く、自宅等で誰にも看取られずに一人で亡くなり、亡くなった後何日間か放置した状態で発見されることです。

孤立死の心配については、「心配である」が 18.2%、「少し心配である」が 25.4%となっている。



### 【対象者全体】

「少し心配である」が 25.4%と最も高い。次いで、「あまり心配していない」が 22.1%である。

### 【性別】

男性、女性による差はあまり見られないが、女性の方がやや心配である傾向がみられる。

### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

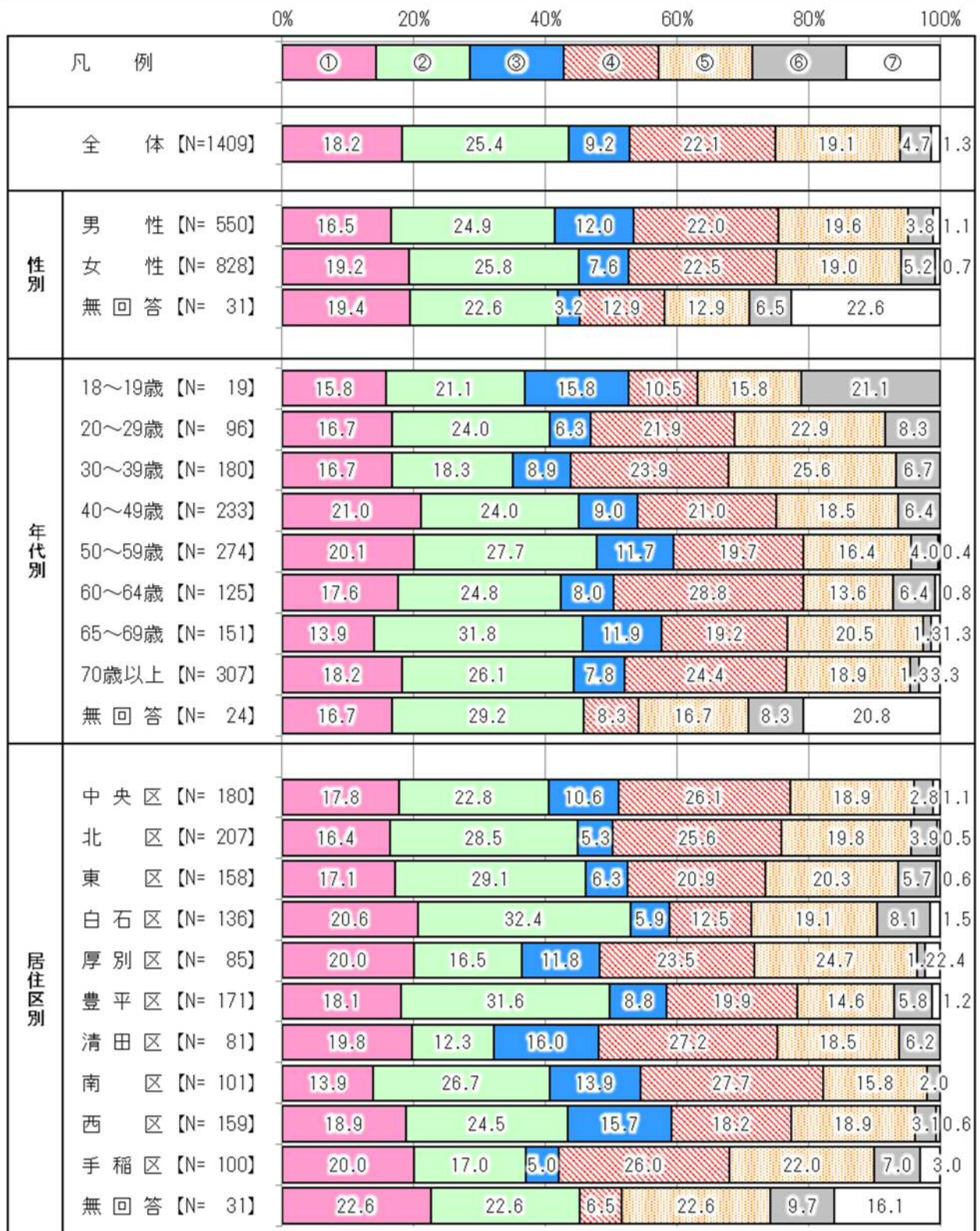
60歳代後半では「少し心配である」(31.8%)が他の年代に比べて割合が高いが、「心配である」(13.9%)が他の年代に比べ低い。

### 【居住区別】

白石区、豊平区では「少し心配である」が 30%を超えており、厚別区、手稲区では「心配していない」「あまり心配していない」を合わせた割合が他の区に比べて高い。



①心配である ②少し心配である ③どちらともいえない ④あまり心配していない  
 ⑤心配していない ⑥わからない ⑦無回答

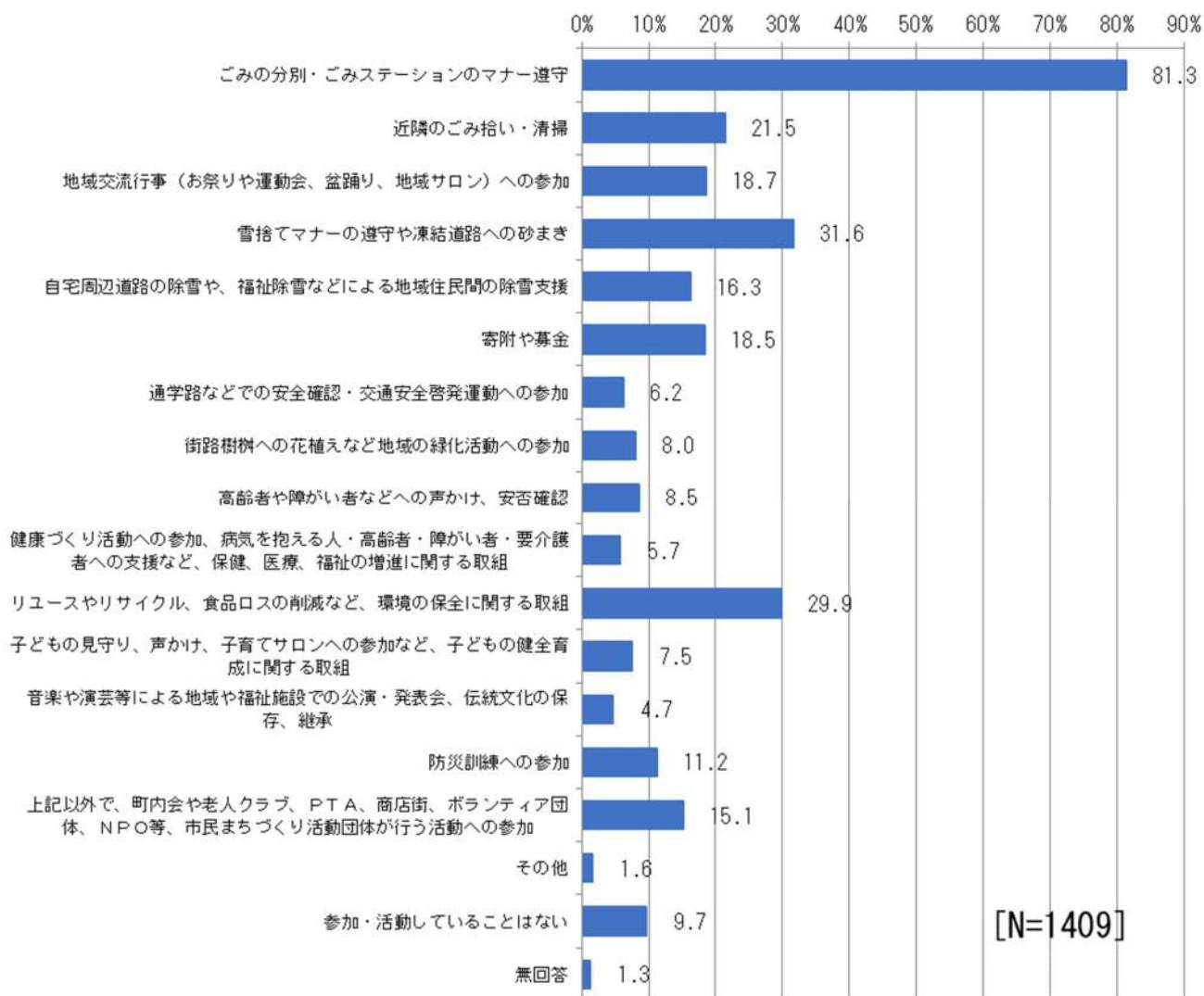


## 継続的に行っているまちづくり活動

【問 12】 次にあげるまちづくり活動\*のうち、あなたが継続的に行っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

※ まちづくり活動とは、町内会や老人クラブ、PTA、商店街、ボランティア団体、NPO等の市民まちづくり団体が行う活動に参加するなど、快適な生活空間の確保、地域社会における安全及び安心の推進など、暮らしやすいまちを実現するための活動全般を指します。

継続的に行っているまちづくり活動については、「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が81.3%と最も高くなっている。



**【対象者全体】**

「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が 81.3%と最も高くなっている。次いで、「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」が 31.6%となっている。

**【性別】**

男女ともに「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高く、男性が 80.2%、女性が 82.6%となっている。

**【年代別】 ※10 歳代は少数のため参考値とする。**

全年代で「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高くなっている。20 歳代~40 歳代では「近隣のごみ拾い・清掃」が全体よりも低いですが、60 歳代後半以上は全体よりも高くなっている。

**【居住区別】**

全居住区で「ごみの分別・ごみステーションのマナー遵守」が最も高くなっている。「近隣のごみ拾い・清掃」は清田区、手稲区で高く、「地域交流行事への参加」は手稲区、「雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき」は清田区、南区、手稲区、「自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪などによる地域住民間の除雪支援」は清田区、「寄付や募金」は厚別区、南区で高くなっている。

		回答者数	ごみの分別・ごみステーションの遵守	近隣のごみ拾い・清掃	地域交流行事（お祭りや運動会、盆踊り、地域サロン）への参加	雪捨てマナーの遵守や凍結道路への砂まき	雪などによる地域住民間の福祉除雪支援	自宅周辺道路の除雪や、福祉除雪	寄附や募金	通学路などでの安全確認・交通安全啓発運動への参加	街路樹への花植えなど地域の緑化活動への参加
全体		1,409	81.3	21.5	18.7	31.6	16.3	18.5	6.2	8.0	
性別	男性	550	80.2	24.4	17.8	34.2	19.1	18.0	7.5	8.2	
	女性	828	82.6	19.7	19.3	30.0	14.1	19.2	5.6	7.9	
	無回答	31	67.7	19.4	16.1	29.0	22.6	6.5	-	9.7	
年代別	18～19歳	19	57.9	10.5	15.8	31.6	5.3	15.8	5.3	-	
	20～29歳	96	77.1	5.2	8.3	19.8	17.7	11.5	3.1	1.0	
	30～39歳	180	77.8	11.7	25.6	30.6	13.9	8.3	7.8	3.3	
	40～49歳	233	81.5	11.2	19.7	27.5	10.7	12.9	7.3	1.7	
	50～59歳	274	85.8	19.0	13.9	32.5	14.2	19.3	4.7	6.6	
	60～64歳	125	82.4	25.6	16.0	35.2	12.8	22.4	4.0	8.0	
	65～69歳	151	88.7	32.5	22.5	41.7	21.9	24.5	4.6	13.9	
	70歳以上	307	78.8	35.8	21.2	31.6	21.5	26.4	8.8	16.0	
	無回答	24	70.8	25.0	12.5	33.3	29.2	8.3	-	16.7	
居住区別	中央区	180	82.2	13.3	17.8	25.0	15.0	18.9	4.4	5.6	
	北区	207	83.1	25.6	20.8	30.4	17.9	14.5	7.7	5.8	
	東区	158	75.3	12.7	17.7	27.2	13.9	11.4	6.3	8.2	
	白石区	136	73.5	17.6	11.8	31.6	13.2	12.5	8.1	6.6	
	厚別区	85	85.9	30.6	17.6	30.6	18.8	30.6	8.2	16.5	
	豊平区	171	82.5	18.7	15.2	26.9	11.1	21.6	6.4	8.8	
	清田区	81	81.5	32.1	22.2	50.6	28.4	14.8	4.9	12.3	
	南区	101	91.1	27.7	22.8	42.6	17.8	37.6	5.0	5.9	
	西区	159	80.5	15.7	17.0	27.7	10.1	15.7	3.1	5.0	
	手稲区	100	84.0	38.0	31.0	43.0	25.0	21.0	10.0	13.0	
	無回答	31	74.2	22.6	12.9	25.8	25.8	6.5	-	9.7	

対象者全体の値と比較し10%以上高い

対象者全体の値と比較し10%以上低い

(単位：%)

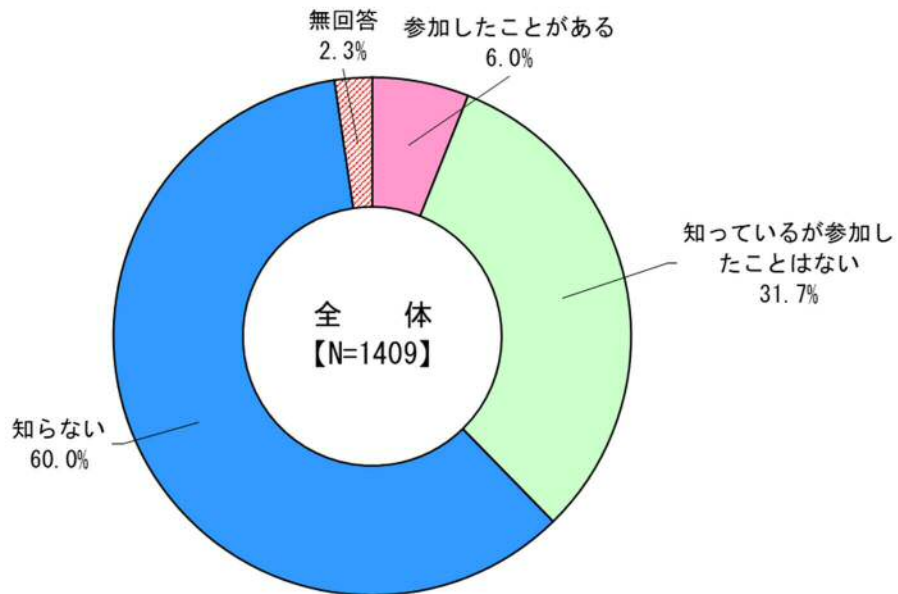
	回答者数	高齢者や障がい者などへの声かけ、安否確認	健康づくり活動への参加、保健医療、福祉の増進に関する取組	リユースやリサイクル、食品ロスの削減など、環境の保全に関する取組	子どもの見守り、声かけ、子育てサロンへの参加	音楽や演芸等による地域や福祉施設での公演・発表会、伝統文化の保存、継承	防災訓練への参加	市民まちづくり活動団体が行う活動への参加	その他	参加・活動していることはない	無回答	
全体	1,409	8.5	5.7	29.9	7.5	4.7	11.2	15.1	1.6	9.7	1.3	
性別	男性	550	8.2	6.2	26.5	6.2	3.8	12.9	14.0	2.4	10.0	0.5
	女性	828	8.5	5.2	32.4	8.5	5.2	9.9	16.3	1.2	9.8	1.0
	無回答	31	16.1	12.9	22.6	6.5	6.5	16.1	3.2	-	3.2	22.6
年代別	18～19歳	19	-	-	26.3	10.5	5.3	-	5.3	-	36.8	-
	20～29歳	96	4.2	2.1	17.7	5.2	2.1	4.2	3.1	-	14.6	-
	30～39歳	180	3.3	2.2	23.9	13.9	2.8	3.3	12.8	-	13.3	-
	40～49歳	233	5.2	3.9	28.8	7.7	4.3	5.6	15.0	0.9	9.4	0.4
	50～59歳	274	6.6	4.0	38.3	4.0	4.0	7.7	14.2	0.7	9.5	0.4
	60～64歳	125	6.4	7.2	37.6	6.4	4.0	19.2	16.0	0.8	11.2	1.6
	65～69歳	151	10.6	7.3	36.4	6.0	7.9	18.5	19.9	2.0	4.6	2.0
	70歳以上	307	16.6	10.4	25.1	8.5	6.2	18.9	19.9	4.9	7.5	2.0
無回答	24	20.8	12.5	20.8	8.3	4.2	16.7	4.2	-	-	20.8	
居住区別	中央区	180	8.9	7.8	33.3	8.3	6.1	16.1	14.4	1.1	10.0	1.1
	北区	207	9.2	3.4	27.1	8.2	4.8	8.2	13.5	1.0	9.7	1.0
	東区	158	8.9	4.4	24.7	5.1	3.2	7.6	13.9	1.9	11.4	-
	白石区	136	7.4	5.1	27.2	7.4	3.7	9.6	10.3	1.5	16.9	-
	厚別区	85	10.6	9.4	31.8	3.5	7.1	14.1	16.5	3.5	9.4	1.2
	豊平区	171	8.2	4.1	37.4	7.6	4.7	9.9	15.2	0.6	9.4	-
	清田区	81	7.4	6.2	33.3	11.1	2.5	12.3	23.5	2.5	12.3	1.2
	南区	101	7.9	5.9	37.6	7.9	4.0	15.8	21.8	2.0	5.0	1.0
	西区	159	3.8	5.0	23.3	5.7	3.1	7.5	12.6	2.5	9.4	1.3
	手稲区	100	12.0	9.0	29.0	11.0	9.0	16.0	20.0	2.0	3.0	4.0
無回答	31	19.4	9.7	22.6	9.7	3.2	12.9	6.5	-	3.2	16.1	

## 市民参加の機会

【問 13】札幌市が設けている次の(1)から(5)までにあげる市民参加の機会について、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

- (1) 説明会・意見交換会（特定のテーマについて市民の皆様にご集まいただき、市民と市役所が直接向き合って、説明や意見交換を行うもの）に参加したことがありますか。

説明会・意見交換会への参加については、「知らない」が60.0%と全体の6割を占めている。



### 【対象者全体】

「知らない」が60.0%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が31.7%、「参加したことがある」が6.0%となっている。

### 【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が58.4%、女性が61.8%となっている。

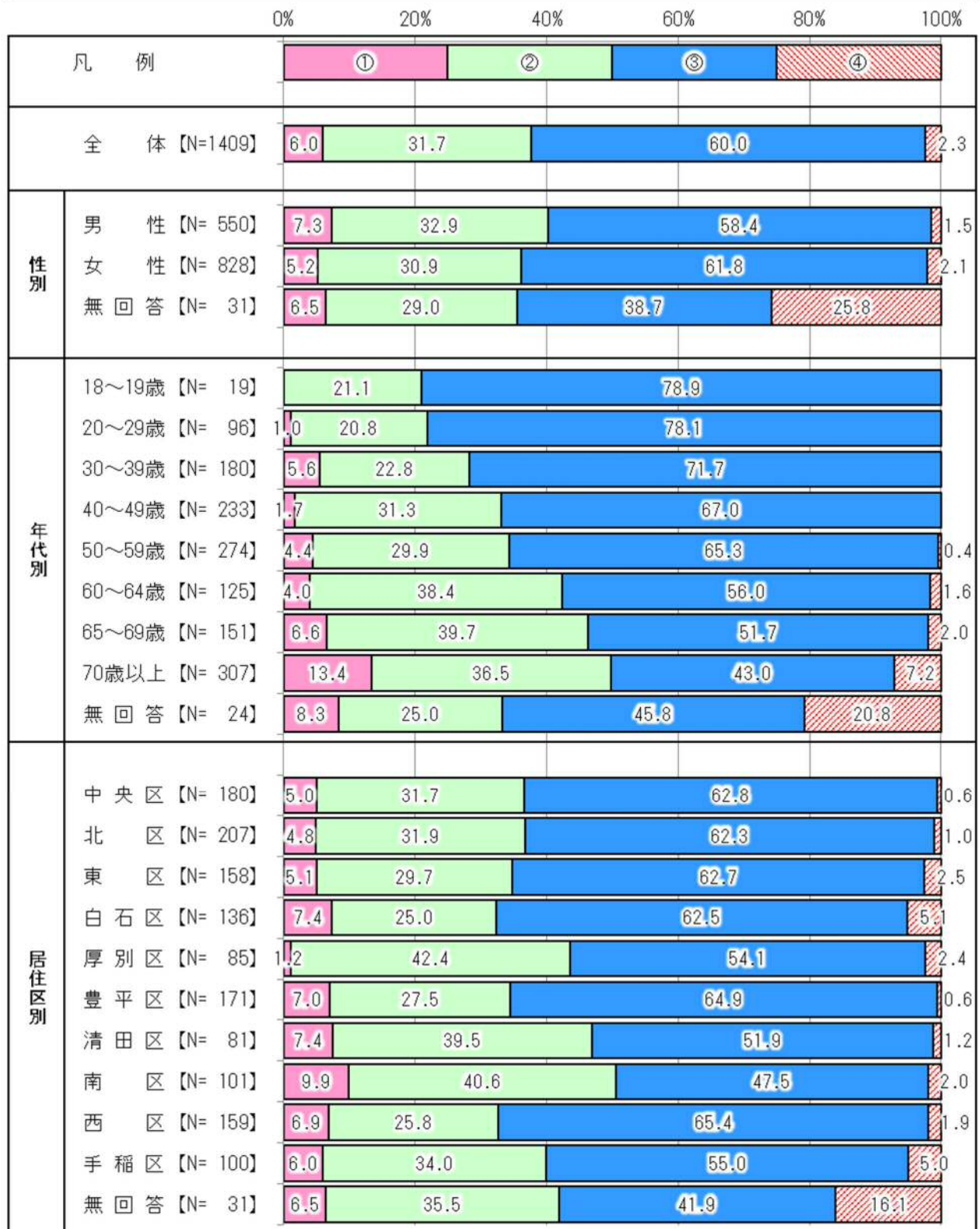
### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

年代別ではすべての年代で「知らない」が最も高くなっている。「知っているが参加したことはない」は60歳代後半では39.7%と最も高く、年代が上がるにつれて上昇傾向になっている。

### 【居住区別】

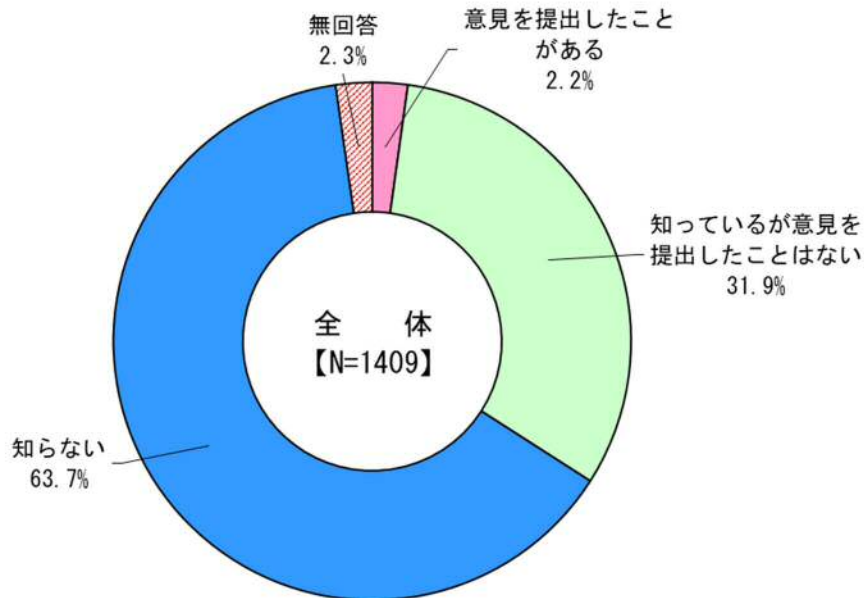
全居住区で「知らない」が最も高くなっている。厚別区では「知っているが参加したことはない」が42.4%と最も高くなっている。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



(2) パブリックコメント（条例や計画など市の重要な政策を定めるにあたり、市が作成した素案をホームページや冊子などで公表し、それに対して市民の皆様から意見をいただくもの）に意見を提出したことがありますか。

パブリックコメントの提出については、「知らない」が63.7%と全体の6割強を占めている。



#### 【対象者全体】

「知らない」が63.7%と最も高くなっている。次いで、「知っているが意見を提出したことはない」が31.9%、「意見を提出したことがある」が2.2%となっている。

#### 【性別】

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が58.4%、女性が67.9%となっている。男性では「知っているが意見を提出したことはない」が37.6%と女性よりも高くなっている。

#### 【年代別】 ※10歳代は少数のため参考値とする。

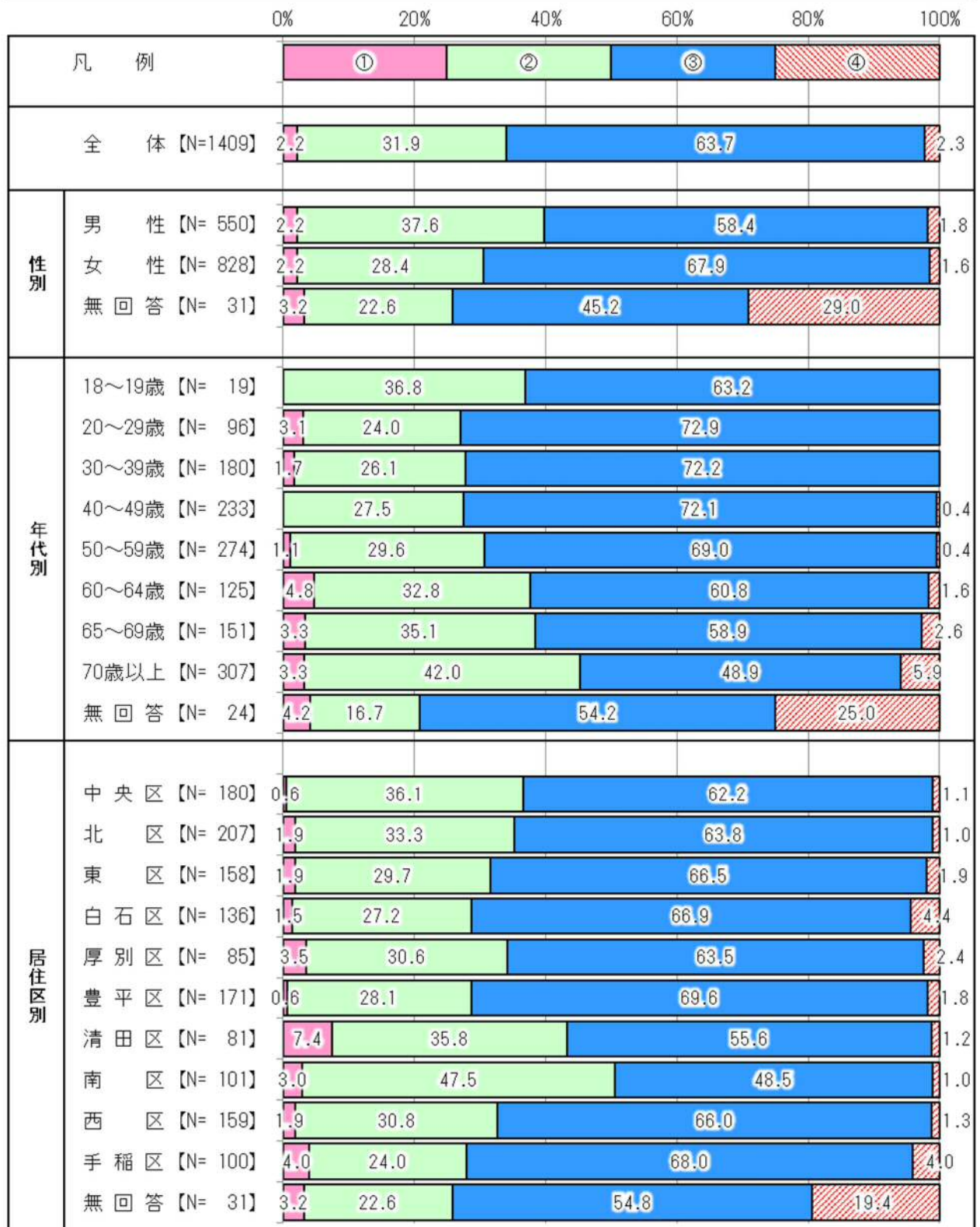
全年代で「知らない」が最も高くなっている。年代が上がるにつれて「知らない」は下降傾向となり、「知っているが意見を提出したことはない」が上昇傾向になっている。

#### 【居住区別】

全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも手稲区が68.0%と最も高く、南区が48.5%と最も低くなっている。

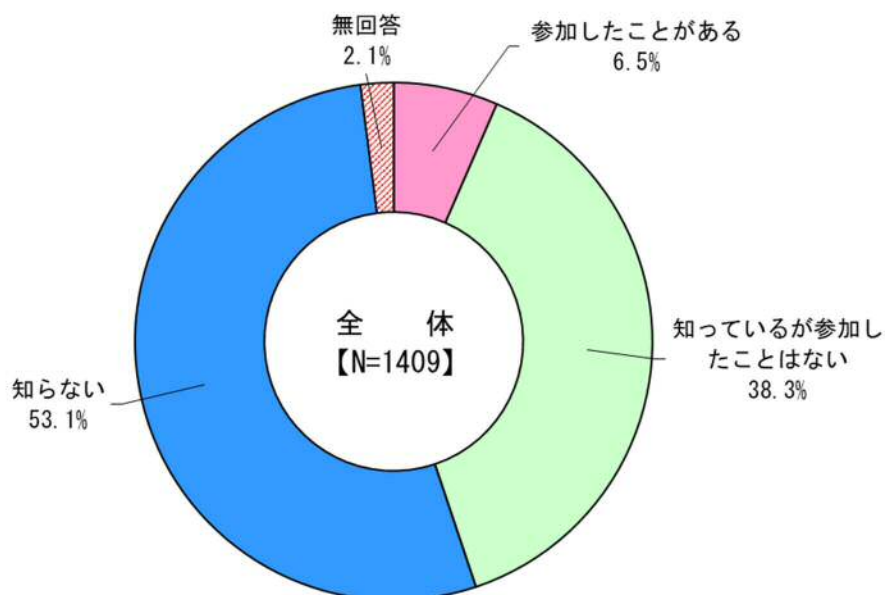


①意見を提出したことがある ②知っているが意見を提出したことはない ③知らない ④無回答



(3) シンポジウム・フォーラム（特定のテーマについて、大勢の出席者が参加して行う公開討論会）に参加したことがありますか。

シンポジウム・フォーラムの参加については、「知らない」が 53.1%と全体の 5 割強を占めている。



**【対象者全体】**

「知らない」が 53.1%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が 38.3%、「参加したことがある」が 6.5%となっている。

**【性別】**

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が 51.3%、女性が 54.6%となっている。

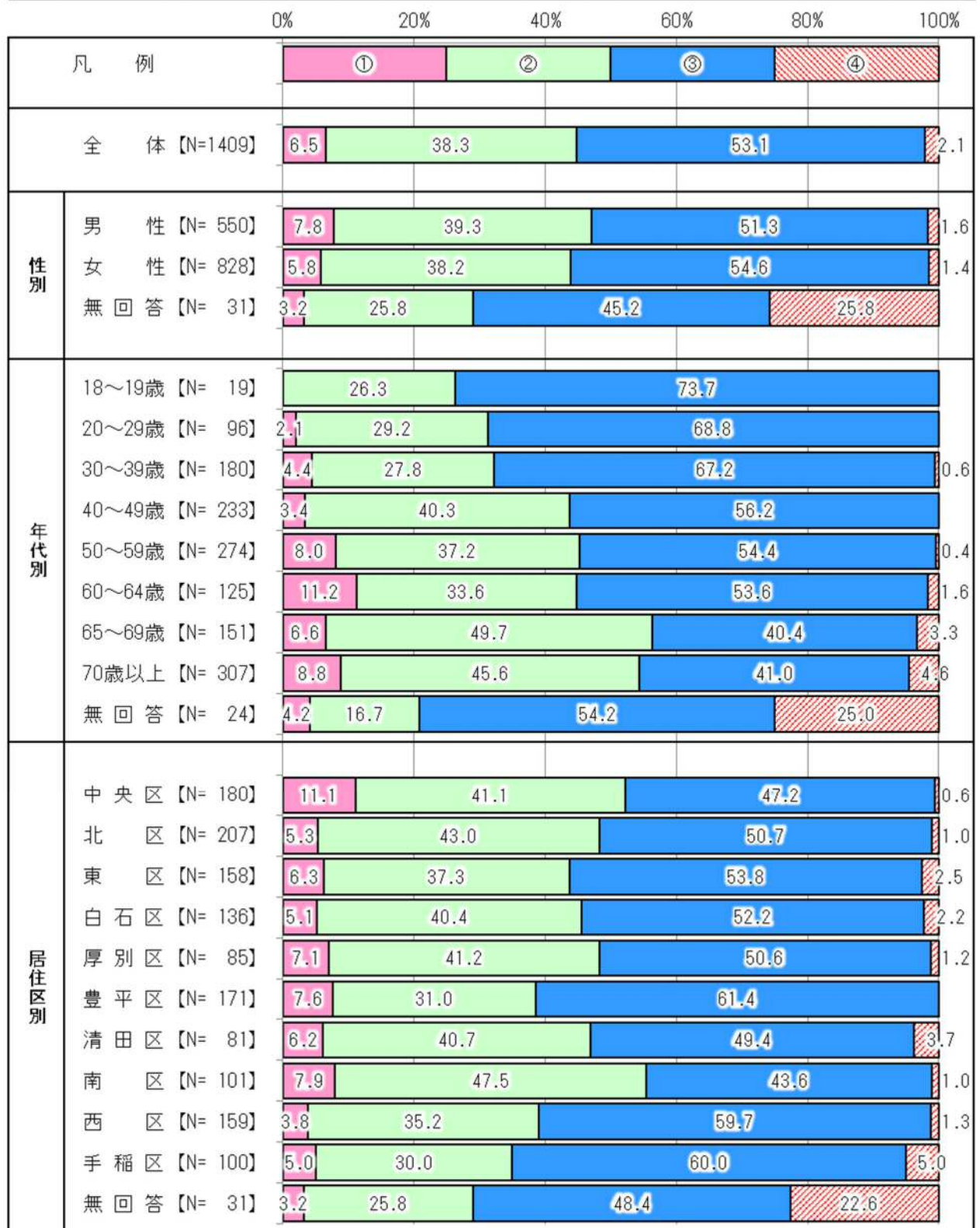
**【年代別】** ※10 歳代は少数のため参考値とする。

20 歳代～60 歳代前半までは「知らない」が最も高くなっている。60 歳代後半と 70 歳以上では「知っているが参加したことはない」が「知らない」を上回る。

**【居住区別】**

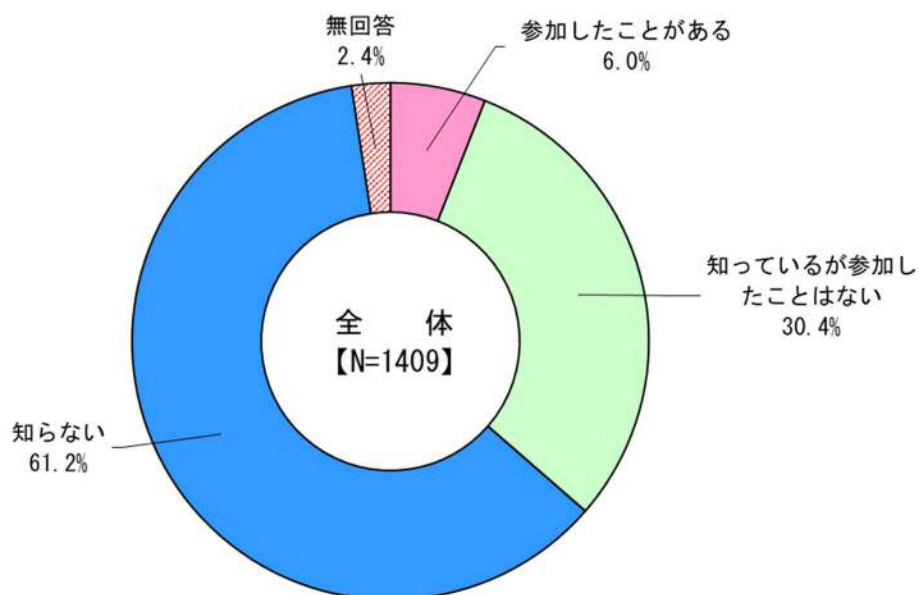
南区を除く全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも豊平区は 61.4%と最も高くなっている。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



(4) ワークショップ（特定のテーマについて、少人数のグループで話し合い、グループごとに意見や提案をまとめるもの）に参加したことがありますか。

ワークショップの参加については、「知らない」が 61.2%と全体の 6 割強を占めている。



**【対象者全体】**

「知らない」が 61.2%と最も高くなっている。次いで、「知っているが参加したことはない」が 30.4%、「参加したことがある」が 6.0%となっている。

**【性別】**

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が 62.9%、女性が 60.7%となっている。

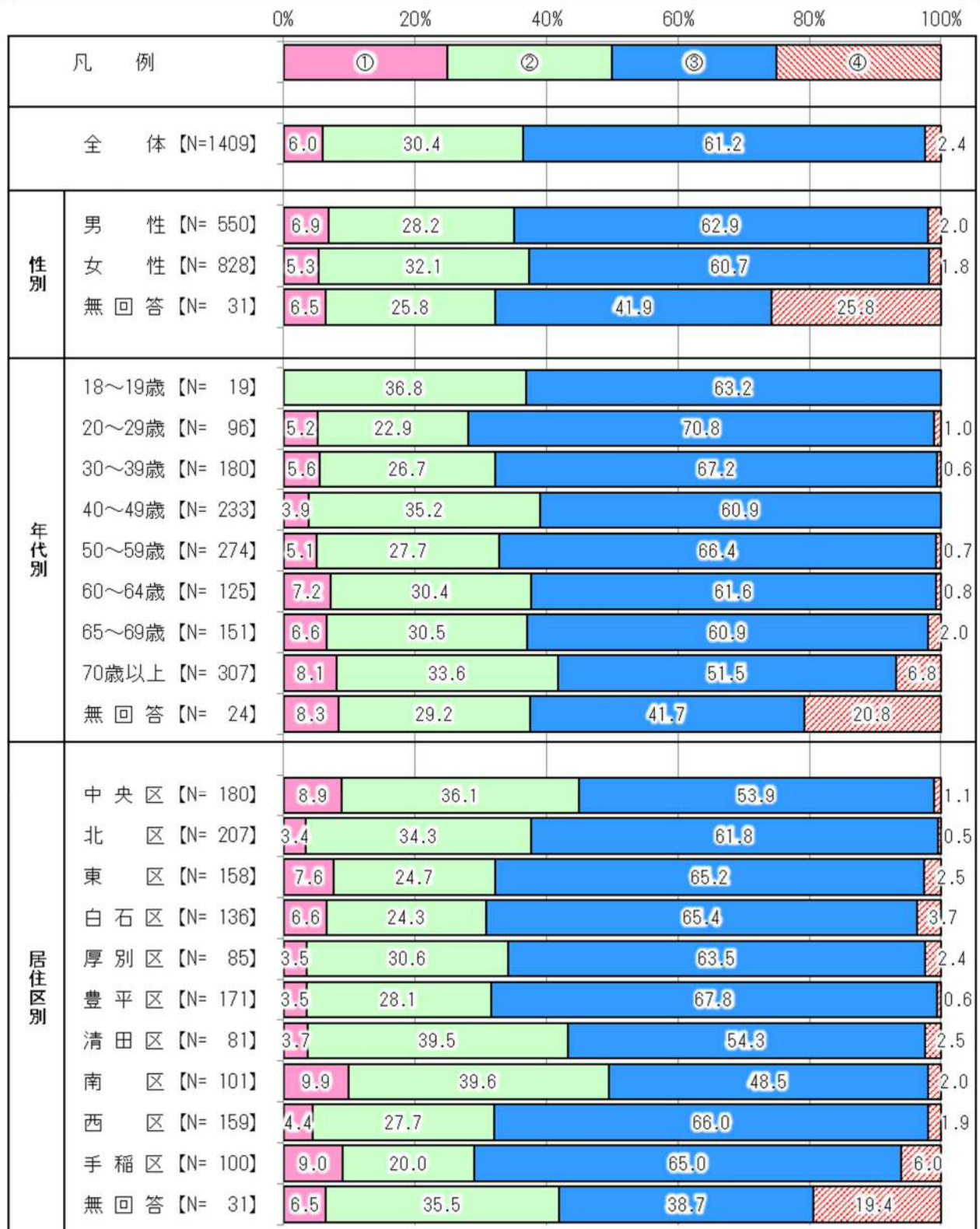
**【年代別】** ※10 歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「知らない」が最も高くなっている。その中でも 20 代は 70.8%と最も高く、70 歳以上では 51.5%と最も低くなっている。

**【居住区別】**

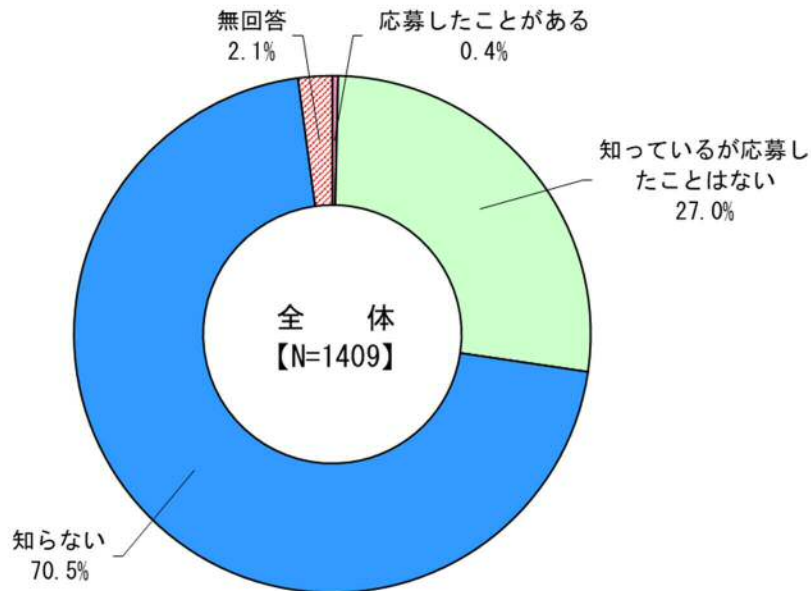
全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも豊平区が 67.8%と最も高く、南区が 48.5%と最も低くなっている。

①参加したことがある ②知っているが参加したことはない ③知らない ④無回答



(5) 審議会など（学識経験者や地域住民、公募市民などから構成される委員が、市政運営における特定のテーマについて議論や検討を行うもの）における市民委員の公募に応募したことがありますか。

市民参加の公募については、「知らない」が70.5%と全体の7割強を占めている。



**【対象者全体】**

「知らない」が70.5%と最も高くなっている。次いで、「知っているが応募したことはない」が27.0%、「応募したことがある」が0.4%となっている。

**【性別】**

男女ともに「知らない」が最も高く、男性が67.6%、女性が72.9%となっている。

**【年代別】** ※10歳代は少数のため参考値とする。

全年代で「知らない」が最も高くなっている。その中でも20歳代が81.3%と最も高く、70歳以上が58.3%と最も低くなっている。

**【居住区別】**

全居住区で「知らない」が最も高くなっている。その中でも西区が75.5%と最も高く、南区が60.4%と最も低くなっている。

①応募したことがある ②知っているが応募したことはない ③知らない ④無回答

